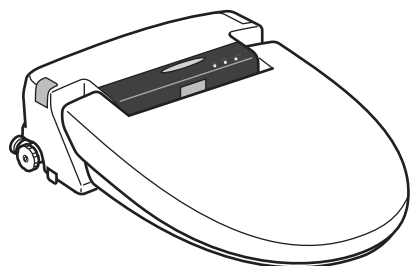


保証書別添

定期点検情報掲載

シャワートイレ

CW-E59 型・CW-E57 型・CW-E55 型
CW-E59Q 型・CW-E57Q 型・CW-E55Q 型
CW-E57T 型・CW-E55A 型
CW-E57TQ 型・CW-E55AQ 型



袋:PE

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、
次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

工事店様へのお願い

貴店名ならびに取付日を同梱の保証書にご記入の上、お客さまへお渡しください。
また、定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

取扱説明書

この度は、当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

もくじ

はじめに	1
各部のなまえ	2
安全上の注意	4
お取り扱い上の注意	8
お使いになる前に確認してください	9
ご使用方法	
●リモコン本体	11
●ご使用前の準備（電源・温水・便座）	12
●基本機能の使いかた（おしり・ワイド洗浄）	13
（ビデ・ワイド・スーパーワイドビデ洗浄）	14
（マイルド・マッサージ洗浄・洗浄位置）	15
（乾燥）	16
（脱臭）	17
●快適機能の使いかた（節電）	19
（フルオート便器洗浄）	20
（フルオート便座）	21
（ほのかライト）	22
（リラックスミュージック）	23
（より快適な機能）	25
●知っておいていただきたいこと	27
お手入れ方法	
●各部のお手入れ	29
●日頃のお手入れ（ノズル・ノズルシャッターのおそうじ等）	30
●便フタの外しかた	33
●リモコンの電池交換	34
●脱臭効果が弱くなった場合	35
●本体を浮かせてそうじします／お掃除スライドアップ	37
●本体を外してそうじします／本体スライド着脱	39
●シャワーが弱くなってきたと思ったら	41
●電源プラグの点検	42
●定期的な点検のお願い	43
長期間使用しない場合	44
冬期凍結の恐れがある場合	45
修理を依頼される前に	
●故障かなと思ったら	48
安全・安心にお使いいただくために	57
アフターサービス	60
仕様	62
別売品のご案内	63
重大事故防止のためのお願い	66

はじめに

保有機能が異なりますので、便フタ裏の品番シールと下記にてお客さまの品番・保有機能をご確認ください。

■保有機能一覧 (あり：○、なし：—)

品 番	CW-E59	CW-E59Q	CW-E57 CW-E57T	CW-E57Q CW-E57TQ	CW-E55 CW-E55A	CW-E55Q CW-E55AQ
おしり・ビデ洗浄	○	○	○	○	○	○
スーパーワイドビデ洗浄	○	○	○	○	○	○
温風乾燥	○	○	○	○	○	○
マイルド洗浄	○	○	○	○	○	○
フルオート便座	○	○	○	○	—	—
Wパワー脱臭	3モード	3モード	3モード	3モード	2モード	2モード
ほのかライト	○	○	○	○	—	—
リラックスミュージック	○	○	—	—	—	—
フルオート大(小)洗浄	—	○	—	○	—	○
便器洗浄男子小洗浄	—	○	—	○	—	—

■リモコン一覧 (左側：壁リモコン、右側：インテリアリモコン)

	壁リモコン	インテリアリモコン
CW-E59 型 CW-E59Q 型		
CW-E57 型 CW-E57Q 型 CW-E57T 型 CW-E57TQ 型		
CW-E55 型 CW-E55Q 型 CW-E55A 型 CW-E55AQ 型		

※ 機種によってスイッチの数や種類が異なります。

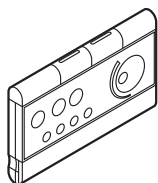
※ インテリアリモコンは、インテリアリモコンに同梱の取扱説明書をあわせてご覧ください。

各部のなまえ

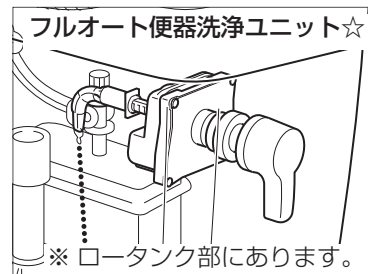
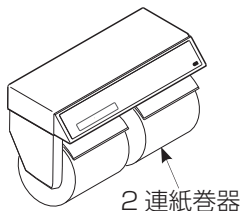
■全体図

※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

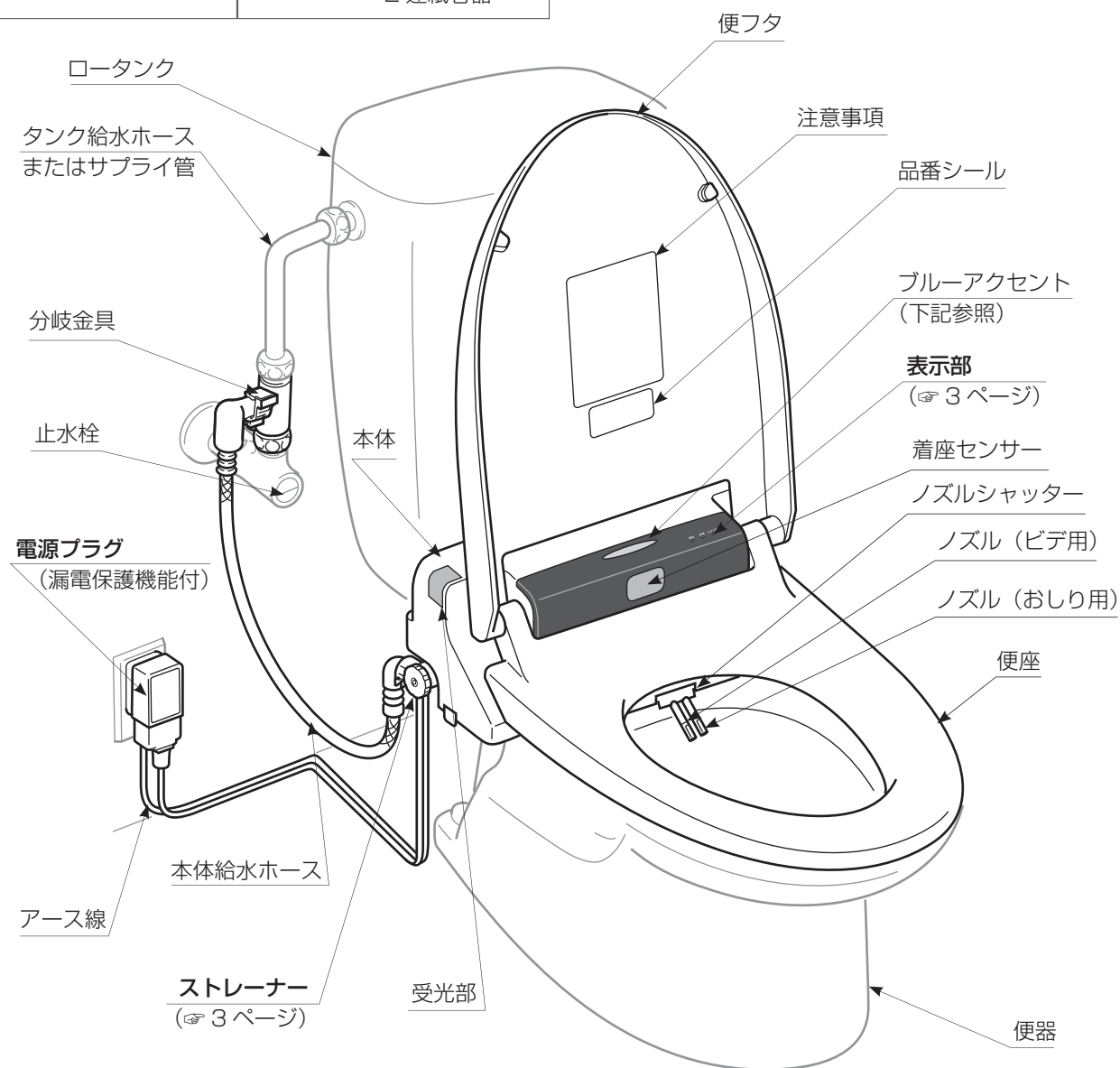
壁リモコン☆
(☞ 11 ページ)



インテリアリモコン☆
(☞ インテリアリモコン取扱説明書)



各部のなまえ



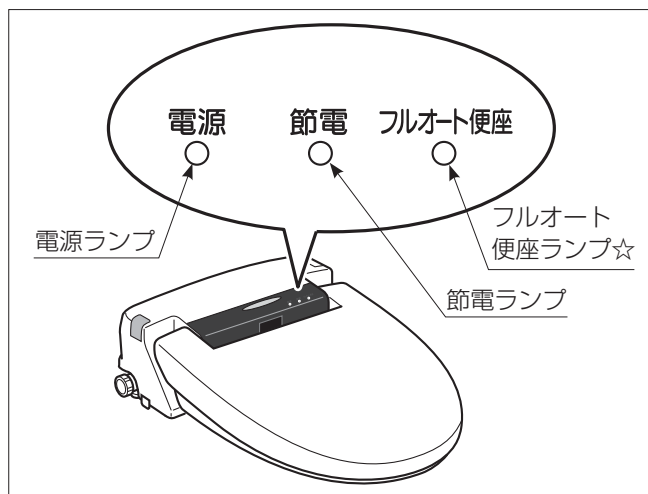
※ 操作は、リモコンのみになります。

※ インテリアリモコンは、インテリアリモコンに同梱の取扱説明書をあわせてご覧ください。

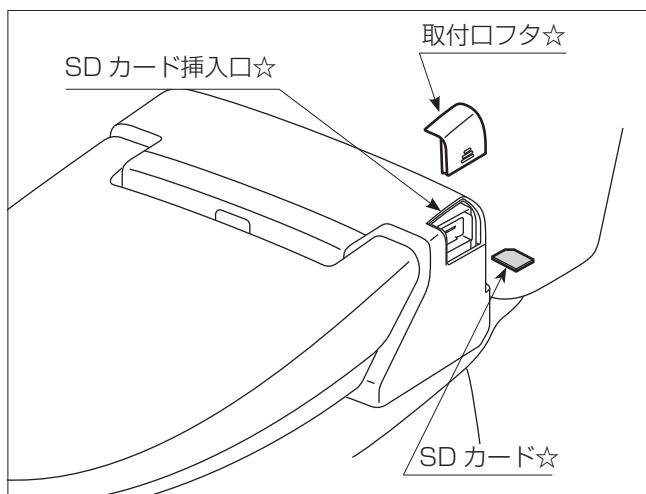
ブルーアクセント： シャワートイレの電源が「入」のときは、ほのかに青く点灯します。人を検知したり、便フタが開くとさらに明るくなります。

※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

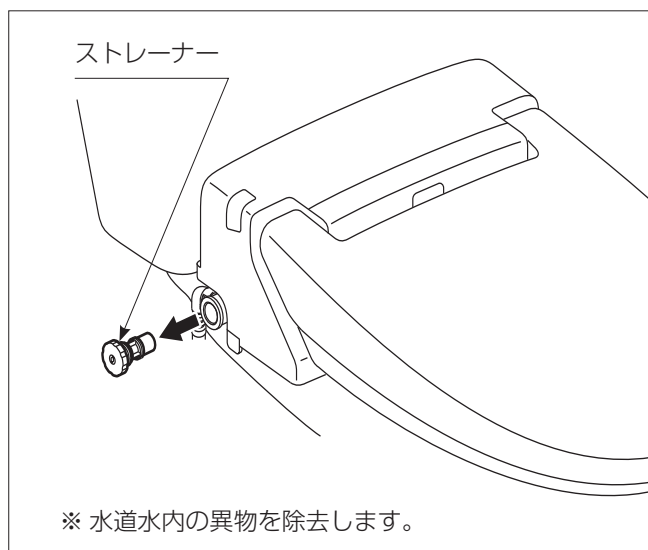
■表示部



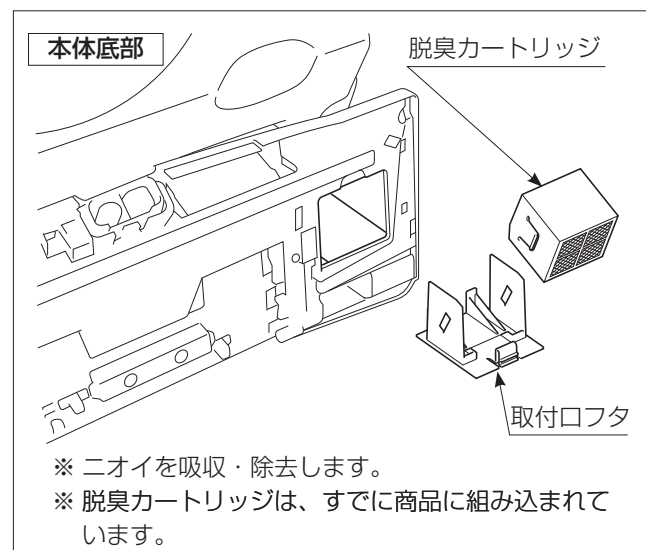
■SD カード挿入口 ☆



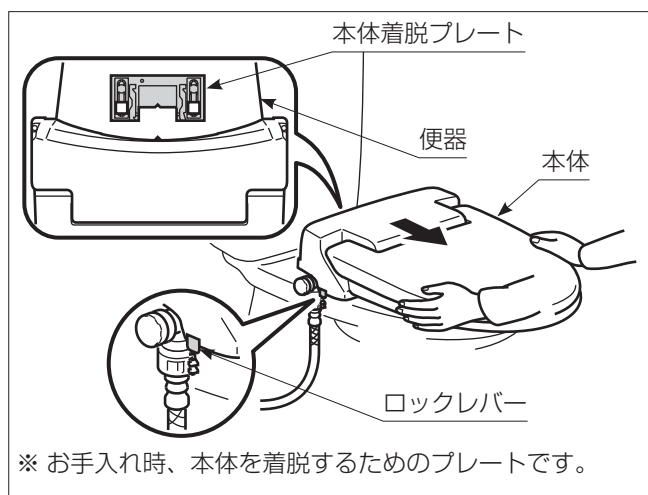
■ストレーナー



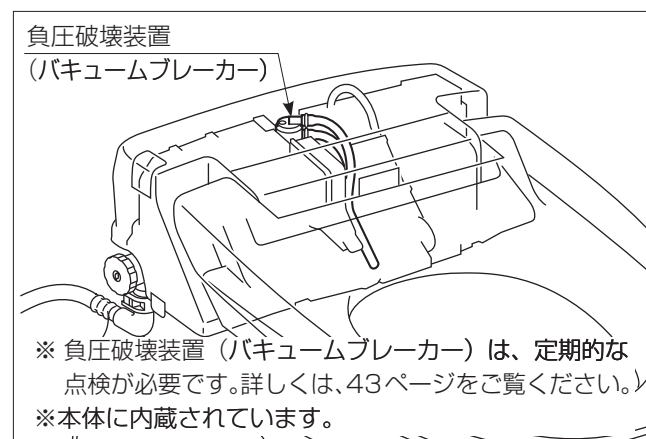
■脱臭カートリッジ



■本体着脱プレート&ロックレバー



■負圧破壊装置 (バキュームブレーカー)



安全上の注意（必ずお守りください。）

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

- 警告** この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う恐れが想定される内容を示します。
- 注意** この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負うまたは物的損害のみが発生する恐れが想定される内容を示します。
-  この表示は「注意しなさい！」の記号です。（上記の『警告』、『注意』と併記して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
-  この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。
禁止
-  この表示は、必ず実行していただく「指示実行」の記号です。
指示実行

警告

化学療法を受けている方、免疫不全症の方など、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けている方は、使用に際し医師に相談する。

※ 身体への著しい障害をまねく恐れがあります。



指示実行

● 長時間使用するときは、便座温度を「切」にしてください。

● 次のような方が使用されるときには、周りの方が便座温度を「切」にしてください。

〔お子さま、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬等、眠気を誘う薬を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方〕

※ 「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。



指示実行

バスルーム等、湿気の多い場所には設置しないでください。

※ 感電・火災の原因になります。



水場使用禁止



● 乾燥を長時間使用するときは、乾燥温度を「低」にしてください。

● 次のような方が使用されるときには、周りの方が乾燥温度を「低」にしてください。

〔お子さま、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬等、眠気を誘う薬を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方〕

※ 「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドの恐れがあります。



指示実行

警告

確実にアース線をアースターミナルに接続してください。

※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。

※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。



アース接続

修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。

※ 感電・火災・ケガの原因になります。



分解禁止

ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しないでください。

※ 感電・火災の原因になります。



禁止

凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行ってください。

(45 ページ)

※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。



指示実行

シャワートイレ本体および給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めてください。

※ 感電・火災・室内浸水の原因となります。



指示実行

シャワートイレ本体、電源プラグやコードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ・漏水）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉め、修理を依頼し、故障したまま使用しないでください。

※ 感電・火災・漏水の恐れがあります。



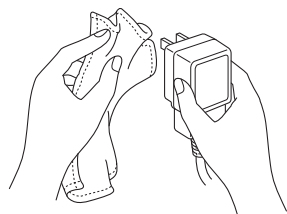
指示実行

電源プラグにホコリがたまらないよう、コンセントから抜いて定期的に乾いた布でふきとってください。

※ ホコリが火災の原因になります。



指示実行



ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。

※ 感電の原因になります。



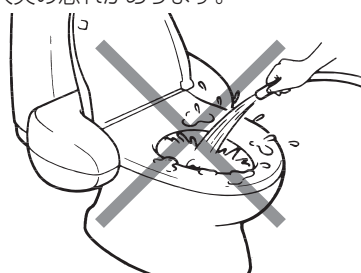
ぬれ手禁止

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。

※ 感電・火災の恐れがあります。



水かけ禁止



SD カードを乳幼児の手の届く場所には置かないでください。(65 ページ)

※ 誤って飲み込むと、窒息の恐れがあります。



禁止

電源コードをキズつけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。

※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。



禁止

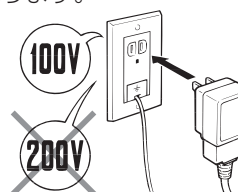
● 交流 100V 以外では使用しないでください。

● タコ足配線はしないでください。

※ 火災の原因になります。



禁止



電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。

※ 感電・火災の原因になります。



指示実行

警告

電池は以下の事を守り、正しく使用してください。



指示実行

- ⊕⊖を正しく入れてください。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出してください。
- 使い切った電池はすぐに器具から取り出してください。
- 電池を破棄するときは、テープ等で絶縁を行ってください。
- ※電池の液もれにより火災の原因となります。
- 乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
- ※誤って飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池液が身体に付着したときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ってください。
- ※失明の恐れがあります。医師に相談してください。

電池を取り扱うときは、以下の事はしないでください。



禁止

- 金属製のもの（ネックレス・ヘアピン等）と一緒に持ち込んだり保管しないでください。
- 新しい電池と古い電池や種類の異なる電池と一緒に使用しないでください。
- 過熱・分解したり、水や火の中に入れたりしないでください。
- ※電池の液もれにより火災の原因となります。

注意

プラスチック部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外（トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール）は使用しないでください。



禁止

- ※プラスチック部が割れてケガの原因になります。
- ※感電・火災の原因になります。



- 温風吹出口に触れないでください。
- 温風吹出口の前に燃えやすい物を置かないでください。
- ※高温になるため、ヤケド・火災の原因になります。

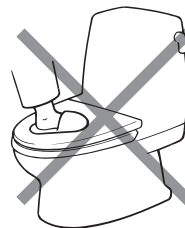


禁止

便フタや本体の上に乗らないでください。
※破損してケガをすることがあります。



禁止



- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認してください。
- ※Oリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。



指示実行

⚠ 注意

便器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。

※ 破損部でケガをすることがあります。
早めに交換してください。



接触禁止

脱臭カートリッジ取付口の奥に指を入れないでください。

※ ケガの原因になります。



禁止

定期的に配管の周りを見て水漏れがないか確認してください。

※ 部品の劣化・摩耗等になる水漏れが発見できず、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。



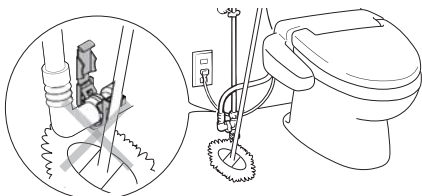
指示実行

清掃時等、クリップに衝撃を与えたり、引っ掛けたりしないでください。

※ クリップの破損等により給水ホースが外れ、室内浸水の原因となります。



禁止



タバコや灰皿等の火気類を近づけないでください。

※ 火災の原因になります。



火気禁止

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。

※ 漏水し室内浸水の原因になります。



禁止

長期間使用しない場合は、水抜き操作を行い、電源プラグをコンセントから抜いてください。(44 ページ)

※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

※ 水が汚れて皮膚の炎症等を起こす原因になります。



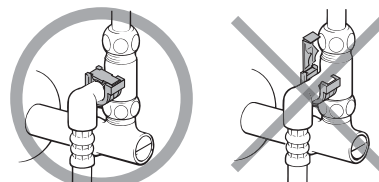
指示実行

クリップは給水ホースに、確実にハマっている事を確認してください。

※ はまっていないと給水ホースが外れ、漏水する恐れがあります。



指示実行

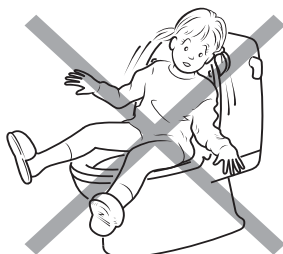


便フタにもたれないでください。

※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。



禁止



止水栓に手をかけたり、乗ったりしないでください。

※ 漏水し室内浸水の原因になります。



禁止

水道水以外に接続しないでください。

※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。



禁止

お掃除のときには、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

※ 感電の恐れがあります。



指示実行

次のような方が使用されるときには、周りの人が転倒に注意してください。

〔お子さま、お年寄り、ご自分で座ることや立ち上がることができない方〕

※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。



指示実行

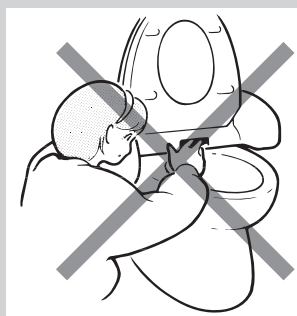
お取り扱い上の注意

■故障を起こさないために守ってください。

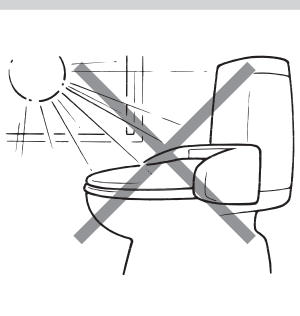
凍結の恐れがあるような夜間は、凍結による破損を防止するために凍結防止方法を実施してください。
(☞ 45 ページ)



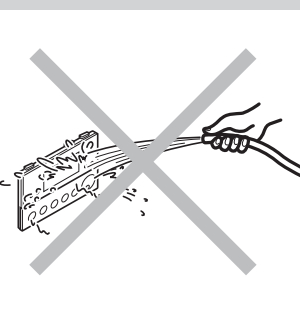
絶対に温風吹出口をふさがないでください。
※故障の原因になることがあります。



直射日光が当たらないようにしてください。
※プラスチック部が変色することがあります。



リモコンに水や洗剤をかけないでください。
※故障の原因となることがあります。



シャワートイレ本体にストーブやヒーター等を近づけすぎないでください。
※変色や故障の原因になります。



便フタおよび便座の開閉は乱暴に行わないでください。
※割れたり漏電等、故障の原因となることがあります。



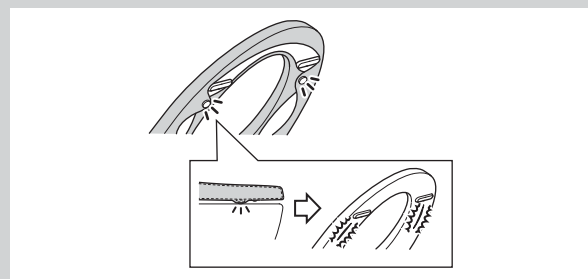
不適切な便フタカバー・便座カバーを取り付けないでください。

※他社市販品のご使用にあたっては、当社では責任を負いかねます。お客さまの責任でご判断ください。

※便座カバーのボタン部分と便器とがぶつかり、便座が割れる場合があります。

※着座センサーにカバーが掛かり、着座センサーが入りっぱなしになります。これにより脱臭ファンが回りっぱなしになったり、便座が冷たくなることがあります。

※カバー類をまき込み、便フタが開ききらず倒れてくる場合があります。



本体・便座・便フタ等のプラスチック部を乾いた布やトイレットペーパー等でふかないでください。
※キズつきの原因になります。(☞ 30 ページ)

プラスチック部にトイレ用消臭剤をかけないように注意してください。
かかった場合は、すぐにふきとってください。
※光沢なくなることがあります。

〈フルオート便器洗浄付の場合〉
洗浄時に停電が起きたり、故意に電源プラグを抜くと、流れっ放しになる場合があります。その際は、洗浄ハンドルを戻してください。
(☞ 28 ページ)

ぬれた手でリモコンを操作しないでください。
※故障の原因になります。

お使いになる前に確認してください

シャワートイレを便器に設置し、はじめて使用される前に必ず下記の項目を確認してください。

お使いになる前に確認してください

1 止水栓が開いていることを確認します。 (☞下記参照)

リモコンのおしり
スイッチ

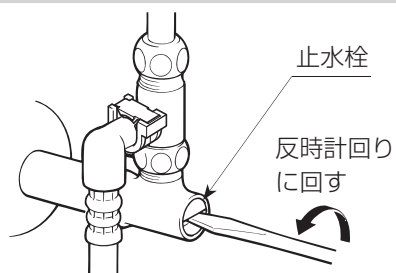
おしり

3 おしり洗浄を確認します。 (☞次ページ)

2 アース線の接続を確認し、電源プラグをコ ンセントに接続します。(☞次ページ)

1 止水栓が開いていることを確認します。

止水栓が閉まっている場合は、反時計回りに回して開けます。
開いている場合は調節してありますので、必ずもとの位置に
戻してください。



⚠ 警告

確実にアース線をアースターミナルに
接続してください。

※ 接続しなかったり、不適切な接続では、
感電・火災の原因になります。

※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気
工事店にご相談ください。



アース接続

⚠ 警告

● 交流 100V 以外では使用しないでく
ださい。

● タコ足配線はしないでください。

※ 火災の原因になります。

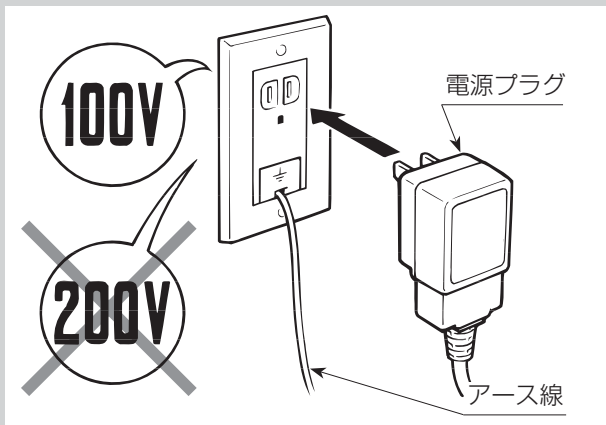


禁止

※ 電源ランプは、シャワートイレ本体の表示部にあります。(☞ 3 ページ)

2 アース線の接続を確認し、電源プラグをコンセントに接続します。

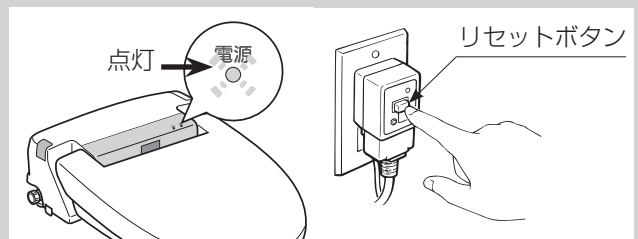
1. アース線がコンセントのアース端子に接続してあることを確認します。
2. 電源プラグを交流 100V のコンセントに差し込みます。



3. 本体表示部の電源ランプが点灯していることを確認します。

本体表示部の電源ランプ（緑）が点灯します。
もし、電源ランプが点灯しなかったら電源プラグのリセットボタンを押してください。

注意 電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。



※ 電源プラグには、シャワートイレ内部で万一漏電が起こった場合、電気を遮断する安全装置が付いています。

3 おしり洗浄を確認します。

1. 着座センサーが紙で覆われていることを確認します。
※ 紙が貼っていない場合は、着座センサーを紙や布で覆ってください。(着座センサーを ON にします。)
※ ノズル付近から水が出ることがあります。
最初に水が出るのは機能上、必要な動作です。
2. リモコンの洗浄ダイヤルを「強」側に回し、おしりスイッチを押します。
3. ノズルが伸びてきたら先端に手をかざしてシャワーを受け止めます。(1 ～ 2 分後)
4. シャワーを止めるときは、止スイッチを押します。
ご使用方法(11 ページ以降)をご覧ください。
5. 着座センサーを覆っていた紙は、確認後、必ず取り去ってください。



※ 人が便座に座ったことを検知する着座センサーが付いています。おしり洗浄、ビデ洗浄、乾燥は、着座していないと動作しません。

お使いになる前に確認してください

ご使用方法 〈壁リモコン編〉

※インテリアリモコンは、インテリアリモコンに同梱の取扱説明書をご覧ください。

リモコン本体

※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

● 操作部上面

便座開／閉 ☆

便座を開閉するときに使用します。
(☞ 21 ページ)

流す

便器洗浄をするときに使用します。
(☞ 20 ページ)

電池ランプ

電池の寿命が近づくと点滅します。
(☞ 34 ページ)

送信部



● 操作部

止

●おしり洗浄 ●ビデ洗浄
●乾燥 (乾燥付の場合)
の動作を止めます。

おしり

おしり洗浄のときに使用します。
再度スイッチを押すとワイド洗浄になります。
(☞ 13 ページ)

ビデ

ビデ洗浄のときに使用します。再度スイッチを押すとワイド洗浄となり、さらに押すとスーパーワイドビデ洗浄になります。
(☞ 14 ページ)

表示ランプ ☆

ほのかライトを「入」にすると点滅表示します。
(ほのかライト ☞ 22 ページ)

ターボ脱臭

強力に便鉢内のニオイを除去します。
(☞ 18 ページ)

マイルド洗浄

おしり洗浄においてシャワーが優しくなります。
(☞ 15 ページ)

マッサージ洗浄

おしり洗浄強さの強弱を繰り返します。
(☞ 15 ページ)

洗浄位置

洗浄位置を調節します。
(☞ 15 ページ)

乾燥

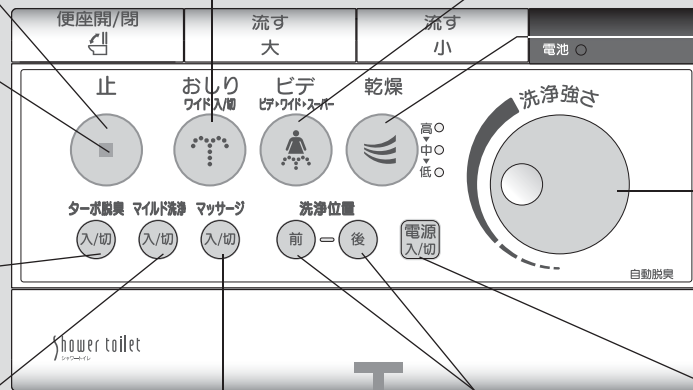
ぬれた部分を乾かすときに使用します。
(☞ 16 ページ)

洗浄強さダイヤル

おしり洗浄、ビデ洗浄の洗浄強さを調節します。
(☞ 13、14 ページ)

電源

シャワートイレ本体の電源を入/切します。
(☞ 12 ページ)



※ 脱臭は、便座に座ると自動でファンが作動します。
(☞ 17 ページ)

● 副操作部

ノズルそうじ

ノズルの掃除に使用します。
(☞ 31 ページ)

音楽停止 ☆

音楽を止めます。
(☞ 23 ページ)

音量スイッチ ☆

音量を調節します。
(☞ 23 ページ)

温水温度表示

温水温度を表示します。
(☞ 12 ページ)

温水温度スイッチ

温水温度を調節します。
(☞ 12 ページ)

節電

便座の温度を下げて節電します。
(☞ 19 ページ)

音楽再生 ☆

音楽を再生したり、切り替えたりします。
(☞ 23 ページ)

自動便器洗浄 ☆

便座から立ち上がると自動的に便器内を洗浄します。
(☞ 20 ページ)

便座温度表示

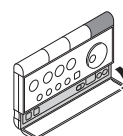
便座温度を表示します。

便座温度スイッチ

暖房便座の温度を調節します。
(☞ 12 ページ)

フルオート便座 ☆

人体を検知して自動的に便座を開閉します。
(☞ 21 ページ)



副操作部
(操作部下部のフタを開けます)



《ご使用前の準備》

シャワートイレを使用する前に下記の操作をしますと、より快適にご使用になれます。

■電源（電源の入／切）

電源スイッチを押して電源の入／切をします。

- ※ 電源が入ると本体表示部の電源ランプ（ 3 ページ）が点灯します。
- ※ 購入後、はじめて電源プラグをコンセントに差し込むと、電源は「入」の状態になります。



■温水（シャワーの温めかた）

温水温度スイッチでシャワーの温度を調節します。

スイッチは 4 段階（「高」、「中」、「低」、「切」）に切り替えられますので、好みの温度に設定してください。

■便座（便座の暖めかた）

便座温度スイッチで便座の温度を調節します。

スイッチは 6 段階（「切（室温）」、「低（約 28℃）」～「高（約 40℃）」*1）に切り替えられますので、好みの温度に設定してください。

* 1：E55A、E55AQ は（「切（室温）」、「低（約 28℃）」～「高（約 36℃）」）



参考

- 便座はすぐには暖まりません。あらかじめ使用する 10 ～ 15 分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。
- 座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする「便座ヒーターオート OFF」機能が付いています。（ 25 ページ）

スイッチを押すたびに液晶表示が切り替わりますので、好みの温度に設定してください。

⚠ 警告

- 長時間使用するときには、便座温度を「切」にしてください。
 - 次のような方が使用されるときには、周りの方が便座温度を「切」にしてください。
〔お子さま、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬等、眠気を誘う薬を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方〕
- ※ 「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。



《基本機能の使いかた》

■おしり洗浄

局部周辺に付着した汚物を洗い流す機能です。ノズルの先端からシャワーが出て、おしりを洗います。

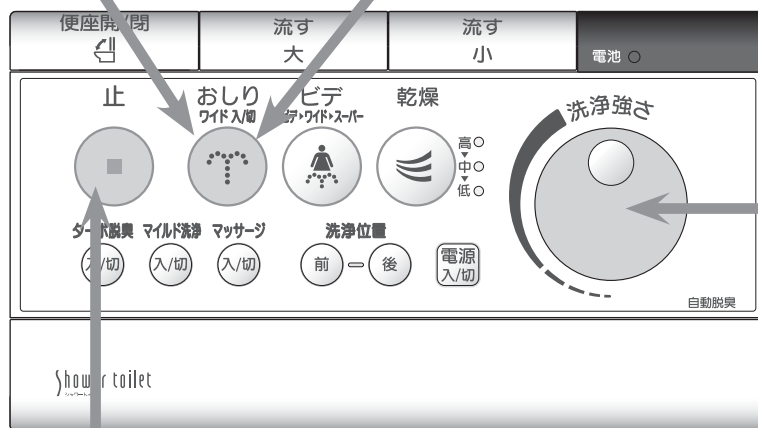
1 おしりスイッチを押します。

■ワイド洗浄

おしり洗浄中、ノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。

1 おしり洗浄中に、再度おしりスイッチを押します。

※ ワイド洗浄を止めるときは、再びおしりスイッチを押します。



3 止めるときは止スイッチを押します。

※ おしり洗浄は、2 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。ただし、洗浄中にマッサージ・ワイド等の操作をするとさらに 2 分間延長し、最長 6 分間洗浄して自動停止します。

※ ノズルオートクリーニングについて

おしり洗浄の前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機能が付いています。

〔参考〕

おしり洗浄の洗浄強さを一番弱くしてもまだ強いと思われる方のために、シャワーの「弱」設定をさらに弱くする機能が付いています。(☞ 26 ページ)

便座に座ったり、シャワースイッチを押したときは、温水を出す準備のためにノズル付近から、しばらく水が出ます。

また、冬期や寒い地域等は、温水が温まるまでに時間がかかります。

便座に座った直後や洗浄の前後、温水温度スイッチを入れたとき等、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。(☞ 27 ページ)

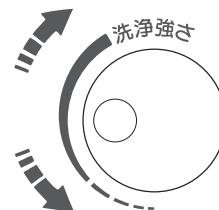
2 洗浄強さダイヤルを回してシャワーの強さを調節します。

強くする場合

時計回りに回します。

弱くする場合

時計回りに回します。



注意

- 水道圧が低いところでは、洗浄強さを弱くすると、シャワーがおしりに当たらないことがあります。このような場合は、洗浄強さを強くしてください。
- 給水温度がきわめて低い冬期等、シャワーの強さが多少弱くなることがあります。
- 便座には、深く腰掛けてください。
深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。
- 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。
※ 常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- 局部の治療・医療行為を受けている方は、使用については、医師の指示を守ってください。

■ビデ洗浄 / ワイド洗浄 / スーパーワイドビデ洗浄

局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。

1 ビデスイッチを押します。

- ※ 洗浄中、ビデスイッチを押すたびにモードが切り替わります。
- ※ 洗浄を止め、再度ビデスイッチを押すと「ビデ洗浄」から始まります。

ビデ洗浄 (1 回押し)

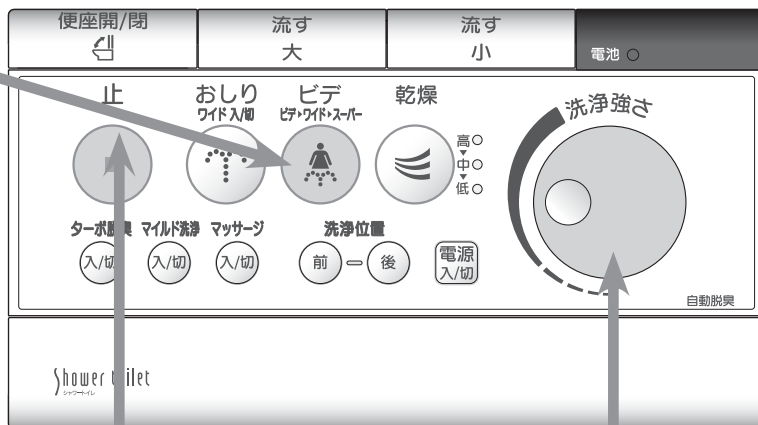
ノズルの先端からシャワーが出て、女性のデリケートな部分を洗います。

ワイド洗浄 (2 回押し)

ビデ洗浄中、ノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。

スーパーワイドビデ洗浄 (3 回押し)

ビデ洗浄中にノズルが前後に動いてワイド洗浄より広い範囲を洗浄します。
※ 4 回押すとビデ洗浄に戻ります。



3 止めるときは止スイッチを押します。

- ※ ビデ洗浄は、2 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。ただし、洗浄中にマッサージ・ワイド等の操作をするとさらに 2 分間延長し、最長 6 分間洗浄して自動停止します。
- ※ ノズルオートクリーニングについて
ビデ洗浄の前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機能が付いています。

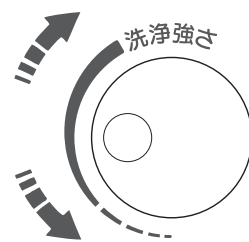
注意

- 水道圧が低いところでは、洗浄強さを弱くすると、シャワーがおしりに当たらないことがあります。このような場合は、洗浄強さを強くしてください。
- 給水温度がきわめて低い冬期等、シャワーの強さが多少弱くなることがあります。
- 便座には、深く腰掛けてください。
深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。
- 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。
※ 常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- 局部の治療・医療行為を受けている方は、使用については、医師の指示を守ってください。

2 洗浄強さダイヤルを回してシャワーの強さを調節します。

強くする場合
時計回りに回します。

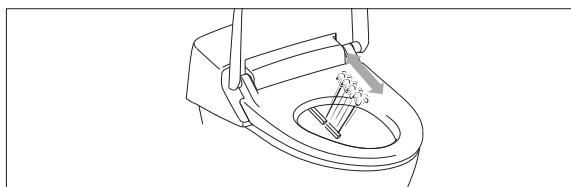
弱くする場合
時計回りに回します。



参考

スーパーワイドビデ洗浄とワイド洗浄（ビデ洗浄）の差異

	洗浄幅
スーパーワイドビデ洗浄	前 5 mm × 後 15 mm
ワイド洗浄（ビデ洗浄）	前 5 mm × 後 5 mm



■マイルド洗淨（おしり洗淨）

おしり洗淨中にシャワーが優しくなっておしりを洗淨します。

1 おしり洗淨中にマイルドスイッチを押します。

2 止めるときは、再びマイルドスイッチを押します。

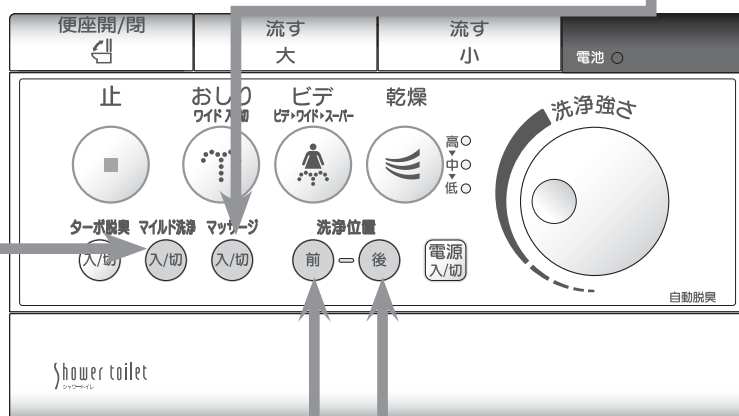
■マッサージ（おしり洗淨）

おしり洗淨中、洗淨強さに強弱をつけてマッサージ洗淨を行います。

※マッサージ洗淨の感じ方には、個人差があります。

1 おしり洗淨中にマッサージスイッチを押します。

2 マッサージを止めるときは、再びマッサージスイッチを押します。

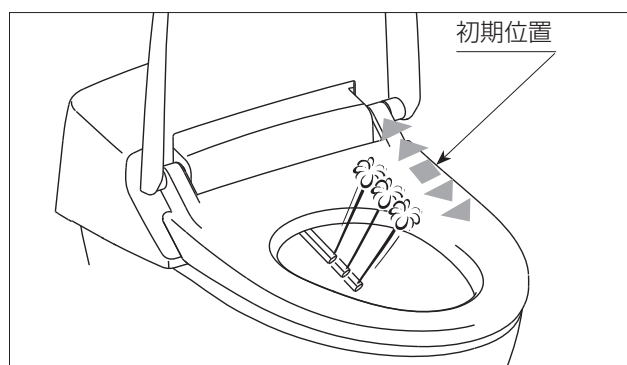


■洗淨位置の調節

おしりまたはビデ洗淨中、洗淨位置は 5 段階に調節することができます。
（初期位置、前 2 段、後 2 段の計 5 段）

洗淨位置の「前」または「後」スイッチを押します。

※ 便座から立ち上がると、自動的に初期位置に戻ります。



■乾燥

温風が出て、シャワーで濡れた部分を乾燥します。

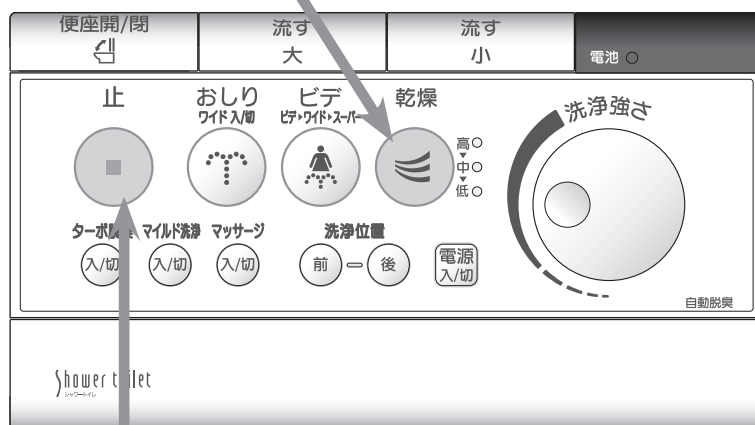
1 乾燥スイッチを押します。

※温風の温度は3段階に調節できます。

2 温風温度を変えるときは再度乾燥スイッチを押します。

スイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますので好みの温度に設定してください。

※スイッチを押すごとに「高」から「中」→「低」→「高」と表示ランプの点灯が切り替わります。



3 止めるときは止スイッチを押します。

※乾燥は、4分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

※乾燥が作動中は、一時的に脱臭が停止します。

⚠ 警告

- 乾燥を長時間使用するときは、乾燥温度を「低」にしてください。
 - 次のような方が使用されるときには、周りの方が乾燥温度を「低」にしてください。
〔お子さま、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬等、眠気を誘う薬を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方〕
- ※「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドの恐れがあります。



指示実行

参考

- 洗浄後、トイレットペーパーで軽く水滴を取ってから乾燥スイッチを押せば、素早く乾燥できます。
- 温風温度を「中」または「低」から始まるようにする“温風始動温度切替え”機能が付いています。(☞ 25 ページ)

■脱臭

脱臭には**自動脱臭**と**ターボ脱臭**の2種類があります。

1. **自動脱臭** : 使用者の行動に合わせ自動的に「フルパワーモード」または「パワーモード」を切替え便鉢内のニオイを除去します。
2. **ターボ脱臭** : リモコンのターボ脱臭スイッチを押すと自動脱臭時より、便鉢内のニオイを強力に除去します。

1. 自動脱臭

フルオート便座付の場合 (3モード脱臭)

1 便器の前に立つと脱臭を始めます。

※ 人を検知すると脱臭ファンが「フルパワーモード」で作動し、ニオイを除去します。



2 便座に座ります。

※ 脱臭ファンが「パワーモード」になり、便鉢内のニオイを除去します。

3 便座から立ち上がります。

※ 再び脱臭ファンの能力を上げて「フルパワーモード」になり、ニオイを除去します。

※ 立ち上がってから1分後に自動停止します。

※ シャワートイレ本体にニオイを吸収する脱臭カートリッジがついています。(☞ 35 ページ)

1 分後に停止



フルオート便座無の場合 (2モード脱臭)

1 便座に座ると脱臭を始めます。

※ 脱臭ファンが「パワーモード」で作動し、便鉢内のニオイを除去します。

2 便座から立ち上がります。

※ 脱臭ファンの能力を上げて「フルパワーモード」になり、ニオイを除去します。

※ 立ち上がってから1分後に自動停止します。

※ シャワートイレ本体にニオイを吸収する脱臭カートリッジがついています。(☞ 35 ページ)

1 分後に停止

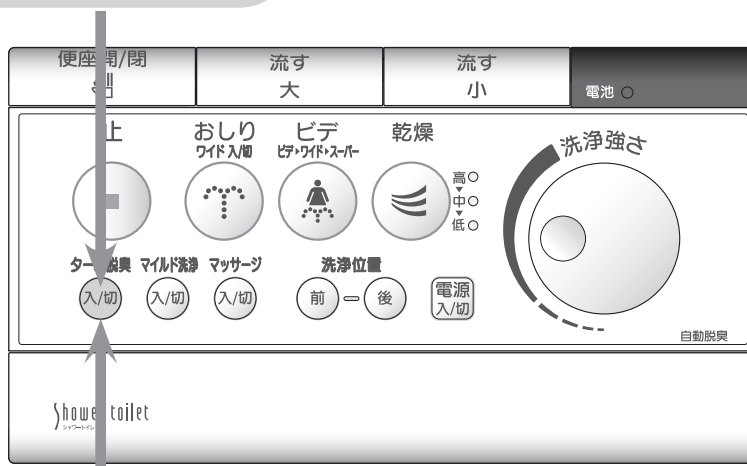


※ 電源ランプは、シャワートイレ本体の表示部にあります。(3 ページ)

2. ターボ脱臭

1 自動脱臭作動中に、ターボ脱臭スイッチを押します。

※ 脱臭ファンが「ターボモード」になり、便鉢内のニオイの除去能力がさらに向上します。



2 ターボ脱臭を止めるときは再度ターボ脱臭スイッチを押します。

※ 「ターボモード」から通常の自動脱臭に戻ります。

●自動脱臭を使用しない場合

止スイッチとビデスイッチを同じタイミングで2秒以上押します。

※ セット完了時、表示部の電源ランプが2回点滅し、脱臭ファンは作動しなくなります。

※ 再び、使用する場合も止スイッチとビデスイッチを同じタイミングで2秒以上押します。



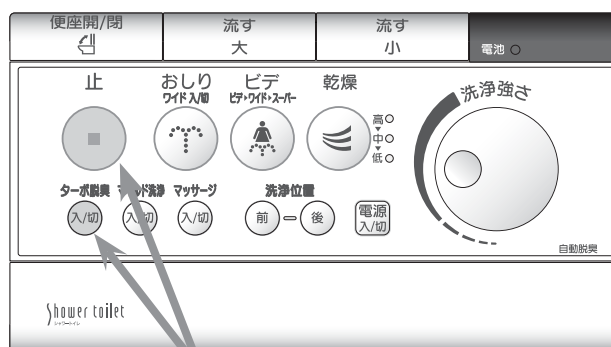
同じタイミングで2秒以上押します。

■自動脱臭を常にターボモードとする場合

止スイッチとターボ脱臭スイッチを同じタイミングで2秒以上押します。

※ セット完了時、表示部の電源ランプが2回点滅し、脱臭時には、脱臭ファンは「ターボモード」で、便鉢内のニオイを除去します。

※ 元に戻す場合も止スイッチとターボ脱臭スイッチを同じタイミングで2秒以上押します。



同じタイミングで2秒以上押します。

《快適機能の使いかた》

■ 節電

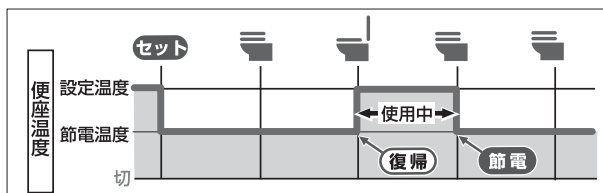
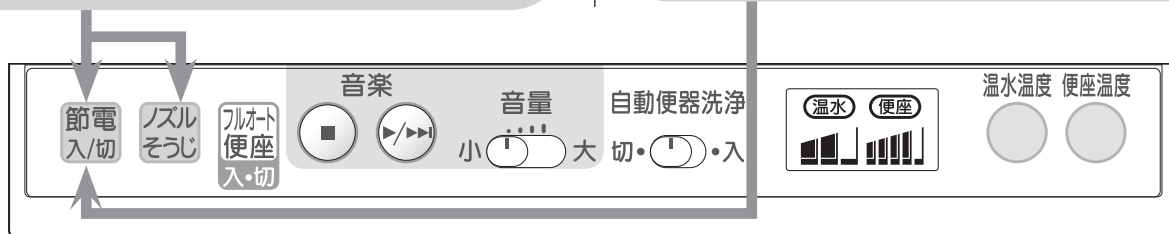
節電機能にはスーパー節電とワンタッチ節電の2種類があります。

1. スーパー節電： 使用していないとき、便座の温度を下げて、消費電力を抑える節電です。
2. ワンタッチ節電： 長時間使用しない夜間等、スイッチを押してから8時間、便座のヒーターを切にして消費電力を抑える節電です。8時間後、便座温度を設定状態に戻します。

スーパー節電を設定した上でさらにワンタッチ節電を併用することで、効果的な節電が行えます。

1. スーパー節電（常時）

- 1 節電スイッチとノズルそうじスイッチを同じタイミングで2秒以上押します。（本体の節電ランプ点滅）



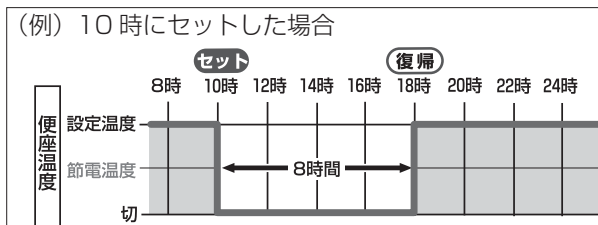
- ※ 使用していないときは常に節電しています。スーパー節電が作動しているときは、本体の節電ランプが0.3秒間隔で2回ずつ点滅します。
- ※ ワンタッチ節電と併用した場合、本体の節電ランプはワンタッチ節電と同様に点灯します。

- 2 解除するときは、再び節電スイッチとノズルそうじスイッチを同じタイミングで2秒以上押します。（本体の節電ランプ消灯）

- ※ 節電時は便座の温度を下げているため、冷たいと感じる場合があります。その際は節電を解除してください。
- ※ 節電機能を使用しない場合でも便フタを閉じておくと節電に効果的です。
- ※ 電源ランプ・節電ランプは、シャワートイレ本体の表示部にあります。（☞ 3 ページ）

2. ワンタッチ節電（8時間）

- 1 節電スイッチを押します。（本体の節電ランプ点灯）



- ※ ワンタッチ節電が作動しているときは、本体の節電ランプが点灯します。
- ※ 8時間経過すると、自動的に機能はもとの状態に戻り、本体の節電ランプは点灯から消灯に切り替わります。
- ※ ワンタッチ節電は押すたびに8時間のタイマーが働きます。日中と夜間等、1日に何度でも設定でき便利です。
- ※ ワンタッチ節電中に便座と温水の温度を変えることはできません。

- 2 解除するときは、再び節電スイッチを押します。（本体の節電ランプ消灯）

■フルオート便器洗浄（自動便器洗浄）

※機種によっては、この機能がない場合があります。

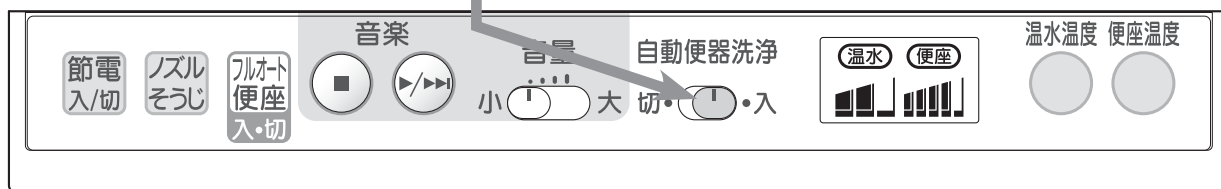
自動便器洗浄には 2 通りの方法があります。

1. 便座から立ち上がると数秒後に自動で洗浄を行う“フルオート便器洗浄”。
2. リモコンの流すスイッチを押して便器洗浄を行う“リモコン便器洗浄”。

1. フルオート便器洗浄のしかた

1 自動便器洗浄スイッチを「入」にします。

2 使用しないときは、自動便器洗浄スイッチを「切」にします。



※ 大小洗浄便器（リモコンに「大・小」スイッチがある場合）において、フルオート大小洗浄は、座った時間の長さで「50 秒以上：大洗浄」・「50 秒未満：小洗浄」を行います。ただし 50 秒未満でもおしり洗浄を使用した場合は「大洗浄」になります。

※ フルオート便器洗浄は、便座から立ち上がってから約 6 秒後に便器洗浄します。この 6 秒を約 15 秒後に切り替えることができます。（☞ 25 ページ）

※ 男性の小用の場合、便座が開いた状態で便器の前に 6 秒以上立ち、離れると 1 秒後に便器洗浄します。

（機種によっては、この機能がない場合があります。）

手洗付タンクをご使用の場合、手を洗うときは流すスイッチを押して便器洗浄してください。

注意

● フルオート便器洗浄中に電源プラグを抜かないでください。

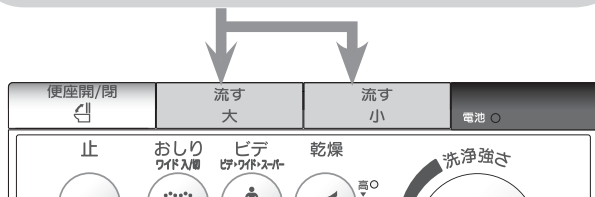
※ 洗浄水が流れっ放しになります。

2. リモコン便器洗浄のしかた

便器の種類によって、リモコンの流すスイッチが「大・小」または「大」があります。

■大小洗浄便器の場合

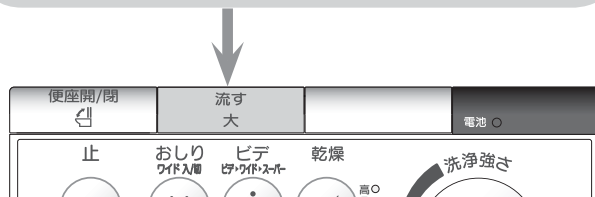
「大」：大便時に押します。
「小」：小便時に押します。



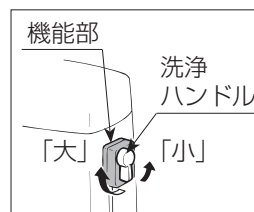
※ 大便時に「小」スイッチを押すと、汚物が流れないことがあります。

■大のみ洗浄便器の場合

便器洗浄時に「大」スイッチを押します。



※ 機能部がタンク部に付いている機種は、洗浄ハンドルを「小」側に手で保持している間だけ小洗浄が行えます。



■フルオート便座（便フタ・便座電動開閉）

※機種によっては、この機能がない場合があります。

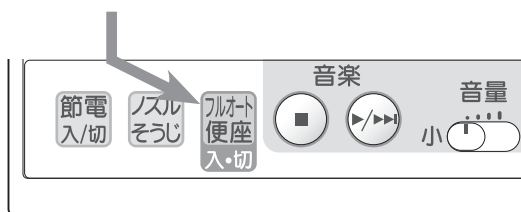
フルオート便座には**ノンタッチ開閉**と**便座電動開閉**の2種類があります。

1. **ノンタッチ開閉**： 便器の前に立つと便フタ（便座）が自動で開き、便器から離れると1分後に自動で閉じます。
2. **便座電動開閉**： リモコンのスイッチを押すと電動で便座が開閉します。

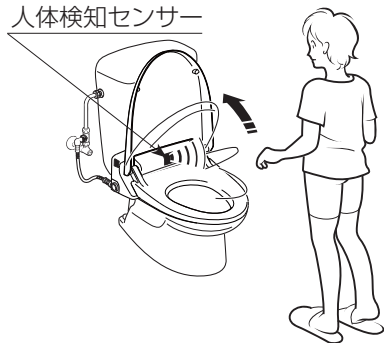
1. ノンタッチ開閉

1 フルオート便座スイッチを「入」にします。

※ 人を検知するとブルーアクセントがより明るくなります。



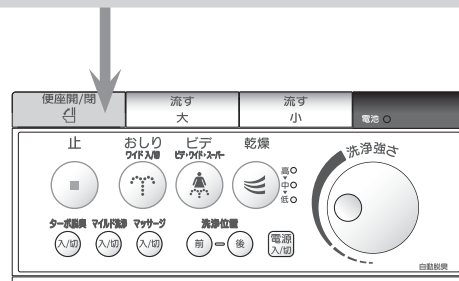
人体検知センサー



2 使用しないときは、フルオート便座スイッチを「切」にします。

2. 便座電動開閉

1 便座開 / 閉スイッチを押します。



2 便座を閉めるときは、再び便座開 / 閉スイッチを押します。

※ フルオート便座スイッチを「入」にしておくと便器から離れて約1分後に便座・便フタが閉まります。

●ノンタッチ開閉で便座も同時に開ける場合

止スイッチと便座開 / 閉を同じタイミングで2秒以上押します。

※ セット完了時、表示部の電源ランプが2回点滅し、便座が自動で開閉するようになります。

※ 元に戻す場合も止スイッチと便座開 / 閉を同じタイミングで2秒以上押します。

※ 人体検知センサーと着座センサーで人を検知して、自動的に開閉します。

※ 小さなお子さまが使用するときには、リモコンのフルオート便座スイッチを「切」にしてください。

小さなお子さまの場合、着座センサーが検知することができず、使用中に便フタが閉じてくることがまれにあります。

- 不適切なカバーをご使用の場合は、便座や便フタが電動で開かなかったり、不具合が生じる場合があります。
- シャワートイレ便座昇降装置「おしりフト」・背もたれ付手すり等をご使用の場合、便フタを外しますのでフルオート便座はご使用になれません。
- センサー窓が汚れていると正常に動作しないことがあります。その場合、センサー窓をやわらかい布で水ぶきしてください。

■ほのかライト

※機種によっては、この機能がない場合があります。

人を検知すると、足下と便鉢内をほのかに照らします。

お買い上げ時は、「入」の状態になっています。

※「入」の場合、止スイッチの中央が点滅します。

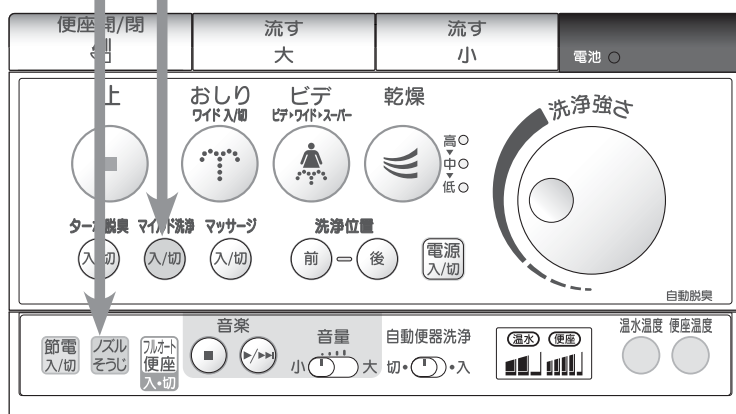
1

消灯するとき、または使用しないときは、ノズルそうじスイッチとマイルドスイッチを同じタイミングで2秒以上押します。

2

使用するとき、再びノズルそうじスイッチとマイルドスイッチを同じタイミングで2秒以上押します。

※ 人が便器から離れると、自動的に消灯します。



- 補助灯なので、トイレの主照明は別途必要です。
- ほのかライト点灯中は、便器底部に影ができて汚れに見える場合があります。
- 止スイッチの中央の点滅を消すことができます。(☞ 26 ページ)

■リラックスミュージック

※機種によっては、この機能がない場合があります。

リラックスミュージックとは、本体の両側にあるスピーカーから音楽が流れる機能です。

音楽再生機能には、**オート音楽再生**と**マニュアル音楽再生**の2種類があります。

1. **オート音楽再生**： 便フタが開くと音楽が自動で再生され、便座から立ち上がってから、または便器前から立ち去ってから一定時間後に音楽が自動で停止します。
2. **マニュアル音楽再生**： 着座中、自分の好きなときにスイッチで音楽再生・停止ができます。

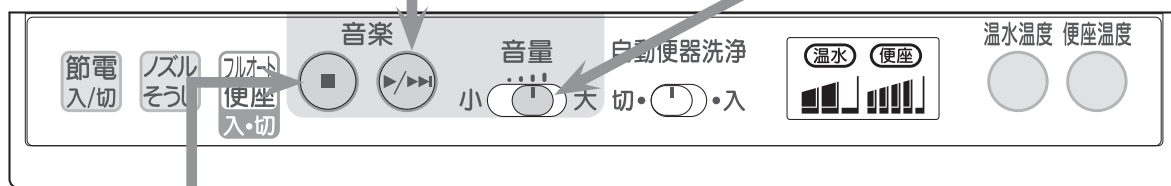
1. オート音楽再生（お買い上げ時は、「入」の状態になっています。）

1 便器の前に立ち、便フタが開くと音楽が自動再生されます。

※ 選んだ音楽が繰り返し流れます。

2 音量は、音量スイッチで調節します。

3 音楽を切り替えるときは、音楽再生スイッチを押します。



4 音楽を止めるときは、音楽停止スイッチを押します。

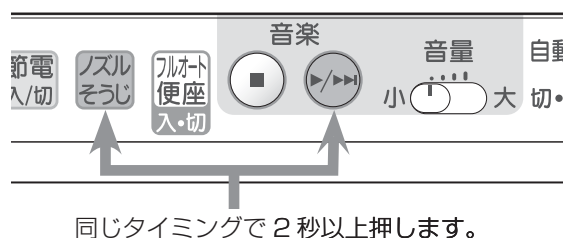
5 便座から離れてしばらくすると、音量を下げながら自動停止します。

● ランダム再生モード……トイレに入るたびに異なる曲が流れます。

■ランダム再生する場合

音楽再生スイッチとノズルそうじスイッチを同じタイミングで2秒以上押します。

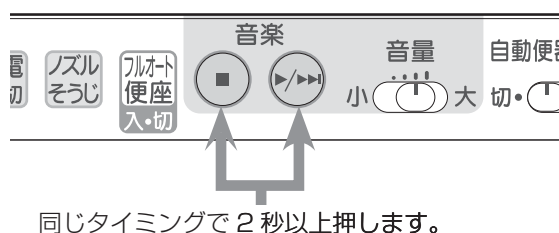
- ※ セット完了時、表示部の電源ランプが2回点滅します。
- ※ ランダム再生をやめる場合も音楽再生スイッチとノズルそうじスイッチを同じタイミングで2秒以上押します。
- ※ 流れる曲順を設定することはできません。



■オート音楽再生を使用しない場合

音楽停止スイッチと音楽再生スイッチを同じタイミングで2秒以上押します。

- ※ セット完了時、表示部の電源ランプが2回点滅します。
- ※ 再び使用する場合も音楽停止スイッチと音楽再生スイッチを同じタイミングで2秒以上押します。



※ 電源ランプは、シャワートイレ本体の表示部にあります。（☞ 3 ページ）

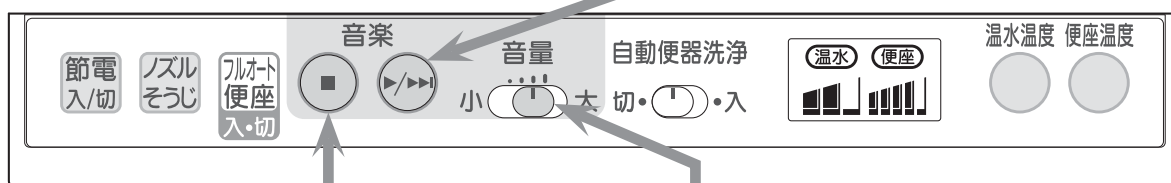
2. マニュアル音楽再生

1 オート音楽再生を解除します。
(前ページ「オート音楽再生を使用しない場合」参照)

2 音楽再生スイッチを押します。
音楽が再生されます。

※ 着座中または、人を検知しているときだけ再生します。
※ 選んだ音楽が繰り返し流れます。

3 音楽を切り替えるときは再度、音楽再生スイッチを押します。



5 止めるときは、音楽停止スイッチを押します。

4 音量は、音量スイッチで調節します。

6 便座から離れてしばらくすると、音量を下げながら自動停止します。

■全曲リピート再生する場合

音楽再生スイッチと温水温度スイッチを同じタイミングで2秒以上押します。

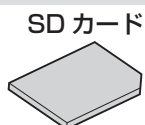
※ セット完了時、表示部の電源ランプが2回点滅します。
※ 全曲リピート再生をやめる場合も音楽再生スイッチと温水温度スイッチを同じタイミングで2秒以上押します。



●SDカードについて

出荷時、同梱のSDカードには、下記の音楽4曲・環境音4曲が入っています。

音 楽	1	愛の夢	(リスト)
	2	G線上のアリア	(バッハ)
	3	ノクターン第2番	(ショパン)
	4	春の歌	(メンデルスゾーン)
環 境 音	5	小鳥のさえずり	
	6	虫の声	
	7	小川のせせらぎ	
	8	琴の音	



⚠ 警告

SDカードを乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
※ 誤って飲み込むと、窒息の恐れがあります。



■より快適な機能

※ 電源ランプは、シャワートイレ本体の表示部にあります。(➡ 3 ページ)

便座ヒーターオート OFF について

座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする機能が付いています。下記の要領でセットしてください。

■セットおよび解除方法

- 止スイッチとおしりスイッチを同じタイミングで 2 秒以上押します。
(セット完了時、電源ランプが 2 回点滅します。)
 - 解除も同じ方法で行います。
- ※ 便座ヒーターは、立ち上がると自動的に復帰します。



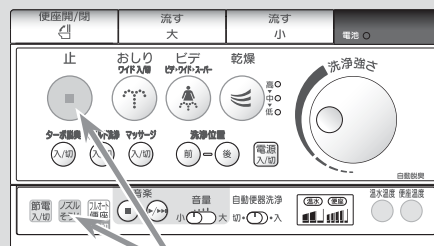
同じタイミングで 2 秒以上押します。

フルオート便器洗浄開始時間について〈フルオート便器洗浄付の場合〉

フルオート便器洗浄は、便座から立ち上がってから約 6 秒後、自動的に便器洗浄を開始します。この開始時間を、約 15 秒後に切り替えることができます。お好みに合わせて下記の要領で切り替えてください。

■セットおよび解除方法

- 止スイッチとノズルそうじスイッチを同じタイミングで 2 秒以上押します。
(セット完了時、電源ランプが 2 回点滅します。)
- 元に戻すのも同じ方法で行います。



同じタイミングで 2 秒以上押します。

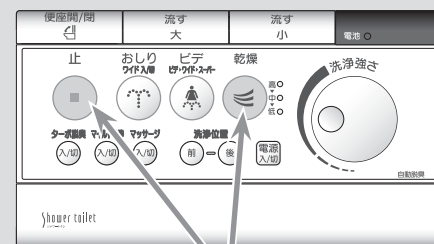
温風始動温度の切替えについて

毎回、温風温度を「中」または「低」から始まるようにすることができます。お年寄り、身体の不自由な方、温度感覚のない方に便利です。下記の要領でセットしてください。

■セットおよび解除方法

- 止スイッチと乾燥スイッチを同じタイミングで 2 秒以上押します。
(セット完了時、電源ランプが 2 回点滅し、温風が始まる温度のランプ「高」「中」または「低」が点灯します。)
- ※ 切替順は下図の通りです。

セット操作	始動温度	使用中、乾燥スイッチを押したときの温度、切替わり方		
		1 回目	2 回目	3 回目
しない / 3 度目	高 ※ お買い上げ時の設定	中	低	高
1 度目	中	低	高	中
2 度目	低	高	中	低



同じタイミングで 2 秒以上押します。

元の温風始動温度に戻す場合

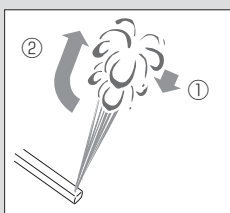
- 止スイッチと乾燥スイッチを同じタイミングで 2 秒以上押す操作を繰り返します。合計 3 度目の操作で、元の温風始動温度に戻ります。

洗浄強さをさらに弱くしたい方のために

おしり洗浄を「弱」にしてもまだ強いと思われる方は下記のように調節してください。
洗浄強さ「弱」を、さらに弱くできます。

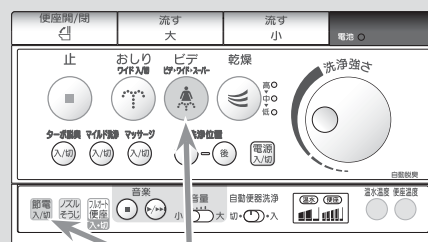
■セットおよび解除方法

- 節電スイッチとビデスイッチを同じタイミングで2秒以上押します。セット完了時、電源ランプが2回点滅して洗浄強さが弱くなります。



※ 水圧の低い所では、最弱の設定にするとシャワーが届かないことがありますのでご注意ください。

元に戻す場合は再度、節電スイッチとビデスイッチを同じタイミングで2秒以上押してください。



同じタイミングで2秒以上押します。

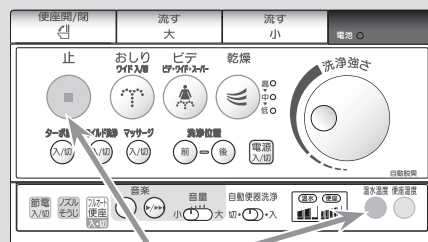
リモコン止スイッチ中央ライトを消灯に〈ほのかライト付の場合〉

ほのかライト起動時は、止スイッチの中央が点滅します。

下記の操作を行うと、止スイッチの中央の点滅を消灯することができます。

■切替方法

- 温水温度スイッチと止スイッチを同じタイミングで2秒以上押します。
- 元に戻すのも同じ方法で行います。



同じタイミングで2秒以上押します。

《お買い上げ時の設定は》

お買い上げ時の設定は以下になっています。この「快適な機能」等で設定を変更し、全ての機能をお買い上げ時の設定に戻したい場合は、「おしり」と「温水温度」、「便座温度」スイッチを同じタイミングで2秒以上押してください。（セット完了時、電源ランプが2回点滅します。）

機能説明	お買い上げ時の設定
脱臭の入／切	脱臭する
脱臭のモード切替	「フルパワーモード」と「パワーモード」の自動切替
スーパー節電の入／切	スーパー節電しない
オート音楽再生の入／切	音楽再生する
リピート再生	1曲リピート再生する
便座ヒーターオート OFF 機能	便座ヒーターオート OFF 機能「切」
洗浄強さ「弱」	2段階中の「強」
乾燥スイッチの押した順番	「高」→「中」→「低」
フルオート便器洗浄の開始時間	立ち上がってから6秒後
ほのかライトの「入」時の表示	止スイッチの点滅「入」
凍結防止	凍結防止を行わない



同じタイミングで2秒以上押します。

《知っておいていただきたいこと》

漏電表示ランプが点灯したとき

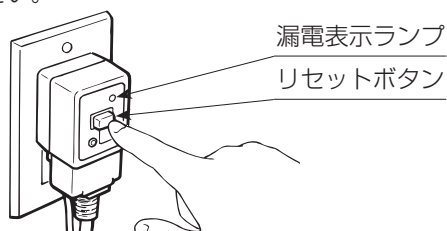
本体内部で漏電が発生すると、事故防止のために各機能を停止させ、電源プラグの「漏電」表示ランプを点灯させます。また、電源プラグに水がかかると漏電表示ランプが点灯する場合があります。

漏電表示ランプが点灯したときは、

1. 電源プラグをコンセントから抜き、10 秒ほど間をおいて再び差し込みます。
2. リセットボタンを押してランプを消灯させます。

※ 上記の操作をしても再びランプが点灯するようであれば、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。

※ 電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。



ノズルの付近から出る水は？

便座に座った直後や洗浄の前後、温水温度スイッチを入れたとき等、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。

※ 上記以外のときやいつまでも水が止まらない場合は、止水栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。



はじめの頃、温風が少し臭うかもしれません

新しいうちは、温風が少し臭うことがありますが、有害ではありません。ご使用とともに消えます。

フルオート便座について 〈電動開閉付の場合〉

人が便器の前に立ったことを検知して、便フタを自動的に開閉するための人体検知センサーが付いています。便器のすぐ前に立つと検知しますが、便器の斜め前や離れて立つと検知できずに便フタが開かないことがあります。



※ 人体検知センサー部が汚れていると、正常に動作しない場合があります。このような場合はセンサー部を柔らかい布で水ぶきしてください。

省エネについて

省エネのためには、以下の項目が有効です。

- 使用後は便フタを閉じておきましょう。
- 便座カバーを取り付けると、省エネに有効です。
※ ただし、こまめにカバーを洗濯して清潔さを保ってください。
- 便座や温水の設定はむやみに高温にせず、快適さを損なわない程度に調節しましょう。
- 春夏秋冬、気温に合わせてこまめに温度設定を行いましょう。
- 節電機能のあるものはできるだけ利用しましょう。
- 長時間の外出時等、不在時はこまめに電源を切っておきましょう。

※ 凍結破損の恐れがある場合は凍結防止方法を実施してください。(P. 45 ページ)

ラジオやテレビに雑音が入ったら

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。

このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。



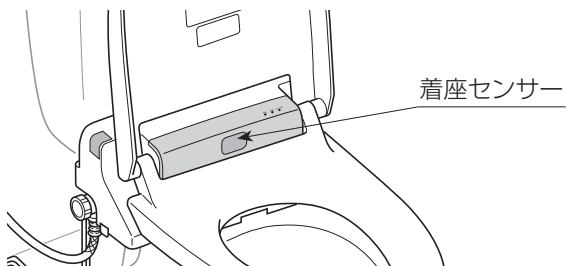
ゆっくり閉じる便座・便フタ

便座・便フタには、あやまって倒したとき等の衝撃をやわらげるため、ゆっくりと閉じるようにスローダウン機構が装備されています。

※ 強引に閉じると故障の原因になることがありますのでご注意ください。

着座センサーが付いています

人が座っていないときに誤ってスイッチを押してもシャワーが噴出しないよう、着座センサーが付いています。したがって便座に座らないとおしり洗浄、ビデ洗浄、乾燥の各機能がはたらきません。



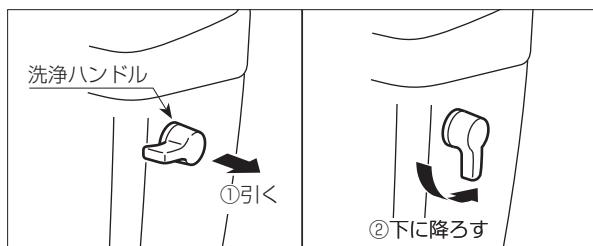
着座センサーは光の反射を利用しているため、次のような場合に作動しないことがあります。

- 前にかがんだり、前寄りに座った場合
※ 便座に深めに座る等、座り方を変えてみてください。
- 黒色や毛羽立った布地等の光が反射しにくい衣服を着ている場合
※ センサーに手をかざす等、肌を検知させるようにしてください。
- センサーに汚れや水滴が付着している場合
※ 汚れや水滴等を取り除いてください。

洗浄ハンドルが途中で止まったら 〈フルオート便器洗浄付の場合〉

自動洗浄の作動中、またはリモコン便器洗浄中に停電が起きたり、故意に電源プラグを抜くと、洗浄ハンドルが途中で止まってしまいます。そのままでは洗浄水が流れ放しになってしまいますので、以下の手順にしたがって洗浄ハンドルを元に戻してください。

- (1) 洗浄ハンドルを引っ張りながら（矢印①）、下に降ろして（矢印②）洗浄水を止めます。
このとき洗浄ハンドルは、通常よりも少し浮いた状態になります。



- (2) 停電が終わりましたら、リモコンの「大」スイッチを押して作動させます。
本体内部のモーターが作動し、洗浄ハンドルが通常の位置まで戻ります。

洗浄強さダイヤルが最弱付近では シャワーが届かない、と思ったら

このシャワートイレは、水道圧によってシャワーを噴出する構造となっています。

水道圧が低いところでは、洗浄強さダイヤルが最弱付近にあると、シャワーが届かないことがあります。

このようなときは、洗浄強さを強くしてください。（☞ 13、14 ページ）

便器のお手入れについて

便器（陶器部）のお手入れには、中性洗剤をお使いください。

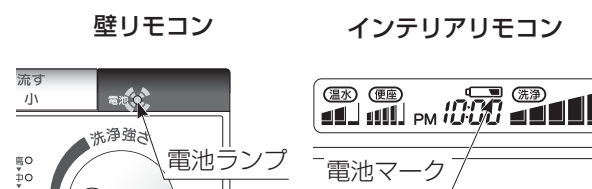
塩素系洗剤・酸性洗剤・消毒剤を使用すると、気化したガスにより、シャワートイレの故障・破損の原因になります。

冬期、シャワーについて

給水温度が極めて低い冬期等、シャワーの強さが多少弱くなったり、シャワーが出るまでの時間が長くなることがあります。

リモコンについて

- リモコンの電池マーク点滅は、電池消耗をお知らせするサインです。
お早めに新しい電池に交換してください。
壁リモコンの場合：☞ 34 ページ
インテリアリモコンの場合：☞ インテリアリモコン取扱説明書「リモコンの電池交換」
※ 部屋の広さ、壁の仕上げや色（特に黒っぽい色）等により、電池マークが点滅する前に使用できなくなる場合があります。（信号が弱くなるため）
- トイレのドアを開けたままや電池マーク点滅時にリモコンのスイッチを押すと、まれに信号が本体に届かず作動しない場合があります。

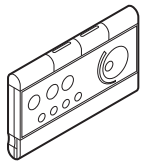


お手入れ方法

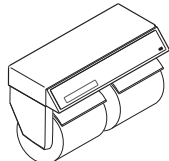
《各部のお手入れ》

このシャワートイレを末永くご使用いただくためにも以下のお手入れを実施してください。

リモコンの電池交換



(☞ 34 ページ)



(☞ インテリアリモコン
取扱説明書)

脱臭カートリッジの掃除・交換

カートリッジのホコリを取り去ったり、交換します。(☞ 35 ページ)

便フタを外して掃除

便フタやヒンジ部を掃除します。(☞ 33 ページ)

便座や便フタ・カバー類の掃除

(☞ 30 ページ)

ストレーナーの掃除

ストレーナーに付着したゴミ等を取り除きます。(☞ 41 ページ)

ノズルシャッターの掃除

(☞ 32 ページ)

電源プラグの点検

漏電保護作動を確認します。(☞ 42 ページ)

ノズルの掃除

(☞ 31 ページ)

本体を浮上させて掃除

本体と便器の間を掃除します。(☞ 37 ページ)

本体を外して掃除

本体と便器をすみずみまで掃除します。(☞ 39 ページ)

⚠ 警告

本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。

※ 感電・火災の恐れがあります。



水かけ禁止

注意

お手入れをするときは、必ずリモコンの電源スイッチを押して、本体の電源ランプ (☞ 3 ページ) が消灯していることを確認してください。
ノズルの掃除を行う場合は、電源を入れた状態で行ってください。

⚠ 注意

プラスチック部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外 (トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール) は使用しないでください。

※ プラスチック部が割れてケガの原因になります。
※ 感電・火災の原因になります。



禁止

※ シャワートイレおそうじクリーナー (品番: CWA-20) をおすすめします。

《日頃のお手入れ》

便座や便フタ・カバー類（プラスチック部）のおそうじのしかた

● 柔らかい布で水ぶきをしてください。

汚れは放っておくと落ちにくくなりますので、固くしぼった柔らかい布でこまめに水ぶきをしましょう。また、水ぶきは静電気を防ぎます。静電気はホコリを引き寄せ、黒く汚れる原因になります。

● お手入れには当社純正のシャワートイレお掃除クリーナーまたはトイレ用おそうじティッシュ（別売品）をおすすめします。

市販の便座用洗剤が使用できますが、中には適さない製品があります。ご不明な点は洗剤メーカーに確認してから使用してください。

さらっと便座のお手入れには当社純正のシャワートイレお掃除クリーナー（別売品）をおすすめします。（☞「さらっと便座について」は下記参照）

おそうじティッシュは汚れの種類によって落ちない場合があります。プラスチック消しゴムでも汚れを落としていただくことができます。

注意 砂消しゴムは使用しないでください。

別売品の購入方法については 64 ページをご覧ください。

※ このシャワートイレは、便フタが簡単に外せます。（☞ 33 ページ）また、本体を浮かせたり（☞ 37 ページ）、本体を外して（☞ 39 ページ）、便器と本体の間も楽に掃除ができます。

注意 乾いた布やトイレトペーパーでふかないでください。

※ キズつきの原因になります。



※抗菌部位について

ノズル・便座・便フタ・カバーに抗菌プラスチックを、リモコンには抗菌シートを採用しています。

※ KILAMIC 抗菌商品について

- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜等が表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。従って感染等が防げるわけではありません。
- 抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格 SIAA に適合した製品です。
KILAMIC 抗菌商品は、経済産業省と抗菌製品技術協議会（SIAA）の推進によって抗菌 JIS 規格（JISZ2801）から ISO 規格（ISO22196）になりました。

※さらっと便座について

さらっと便座は、通常の便座に比べ、立ち上がるときのほりつく感じが少なく、さらさらした肌触りの便座です。通常の便座と比べると表面がマット調（つや消し）になります。

ノズルのおそうじのしかた

ノズルの掃除には、以下の方法があります。

- 使用中（着座中）にお好みでノズルを洗うことができます。“リモコンノズル洗浄”
- 日頃の掃除時、しつこい汚れは、ノズルを電動で動かし、スポンジ等で掃除ができます。

●使用中（着座中）にノズルを洗いたい。（リモコンノズル洗浄）

リモコンのノズルそうじスイッチを押します。

※ ノズルが本体に収納されたまま、約 15 秒間洗浄します。

※ おしり洗浄およびビデ洗浄の前後に、ノズルやその周辺を自動洗浄するオートクリーニング機能が付いています。

壁リモコン



インテリアリモコン



●お手入れ時、ノズルをしっかり掃除したい。

①便座を上げてください。

②おしりノズルを掃除します。



②リモコンのノズルそうじスイッチを押します。

※ ノズル付近から約 5 秒間水が出た後、おしりのノズルが伸びてきて小刻みに前後に動きます。このとき、シャワーは噴出しません。

※ 約 1 分経ちますと、ノズルは自動で戻ります。ノズルが戻った後に再度ノズルそうじスイッチを押しますと、再びノズルが伸びます。

③ビデノズルを掃除します。



③おしりノズルが伸びているときに、再度ノズルそうじスイッチを押します。おしりノズルが戻り、替わってビデノズルが伸びてきます。

④掃除を終わります。



④再度ノズルそうじスイッチを押してビデノズルを戻します。

注意

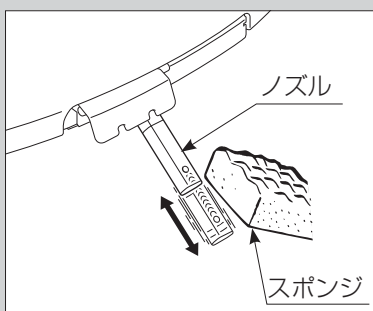
ノズル掃除をする際、手やスポンジ等はなるべく着座センサーから離すようにしてください。着座センサーが検知する場合があります。

※ ノズル掃除中に、着座センサーが検知すると、ノズルは自動で戻ります。この場合、ノズルが戻った後に再度ノズルそうじスイッチを押してください。再び、ノズルが伸びます。

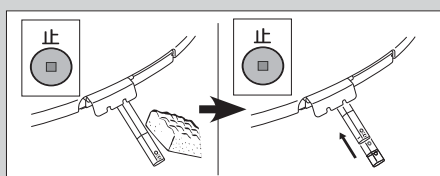
フルオート便座機能付の場合、便座を上げた状態で操作してください。

※ 便座が閉じていると「リモコンノズル洗浄」になります。

ノズルはスポンジ等を当てて掃除してください。



ノズルの小刻みな動きを止めたいときは、リモコンの止スイッチを押してください。ノズルの動きが止まります。このとき、再度止スイッチを押すと、ノズルは戻ります。



注意

ノズルに強い力をかけないでください。

※ 故障の原因になります。

ノズルを無理やり手で引っ張り出したり、押し戻したりしないでください。

※ ノズルが引っこまなくなり、故障の原因になります。

もし、誤って引っ張り出したり、押し戻したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜き、10 秒ほど待ってから再び、電源プラグを差し込んでください。

ノズルシャッターのおそうじのしかた

ノズルシャッターは簡単に外して掃除することができます。

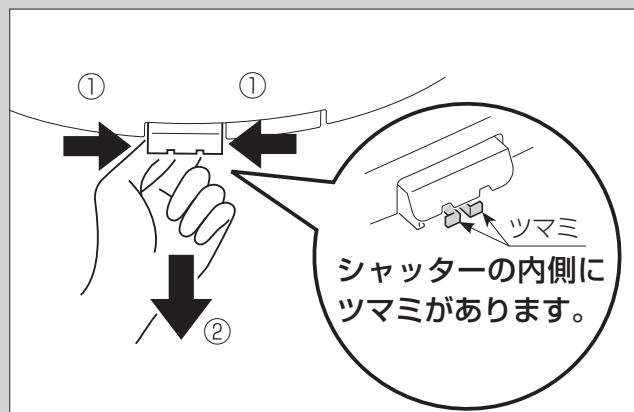
※外しにくい場合は、お掃除スライドアップ (☞ 37 ページ) で本体を浮かせることにより、外しやすくなります。

1. フルオート便座スイッチを切にします。



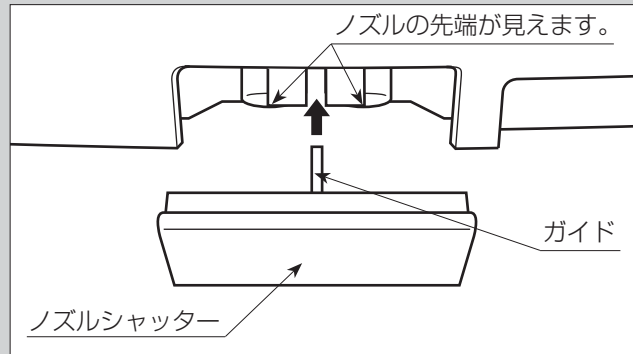
2. ノズルシャッターの外しかた

- ① シャッターを開き、中にあるツマミを左右からつまみます。
- ② ツマミをつまんだまま、前方向に引き抜きます。
- ③ 歯ブラシ等でノズルシャッターの汚れを落とします。



3. ノズルシャッターの取付けかた

ノズルとノズルの間にシャッターのガイドを合わせて差し込みます。



注意 「カチッ」という音がするまで押し込んでください。また、シャッターが正しく取付けられた事を確認してください。

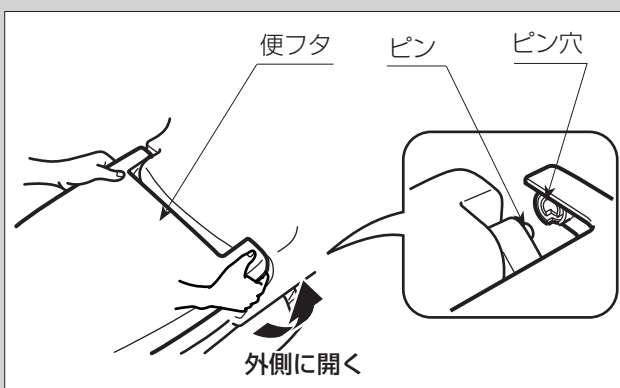


《便フタの外しかた（便フタまわりの隠れた部分のおそうじ）》

便フタは、簡単に外せます。普段、隠れているヒンジ部を掃除するときや便フタを丸洗いするのに便利です。

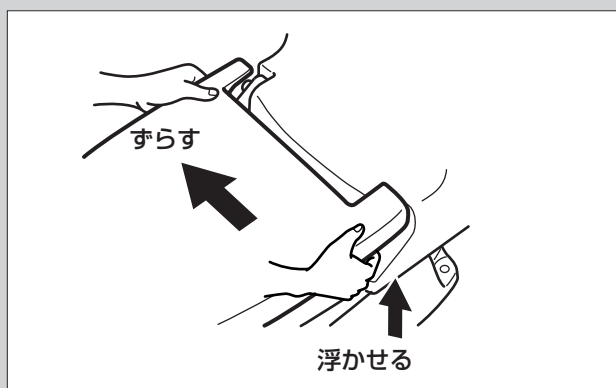
便フタの外しかた

1. 電源を「切」にします。
2. 便フタ右側のピン穴を外側に開いて、ピンから外します。



3. 便フタの右側を浮かせながら左側にずらし、便フタを外します。

注意 強引に外そうとすると割れる等、破損の原因となります。



注意 便フタを外した状態で便座を開かないでください。

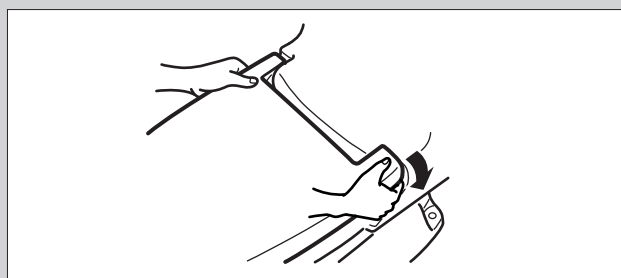
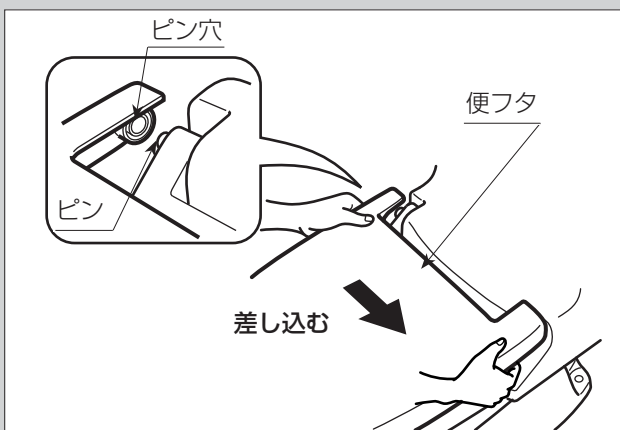
※カバーや便座がキズつく恐れがあります。

便フタを外したまま使用しないでください。

※ CW-E55・55Q・55A・55AQ 型の場合、便フタを閉じた状態で外して使用した場合は、おしり・マイルド洗浄、ビデ洗浄、脱臭、乾燥の各機能が作動しません。

便フタの組み付けかた

1. 便フタ左側のピン穴と本体向かって左側のピンを合わせて差し込みます。
2. 便フタ右側のピン穴を外側に開き、ピン穴とピンを合わせて、便フタを取り付けます。



3. 電源を「入」にします。

《リモコンの電池交換》

電池の寿命が近づくと、電池ランプ（壁リモコン）または電池マーク（インテリアリモコン）が点滅します。

※ 通常、**壁リモコンの場合**、電池ランプは消灯しています。

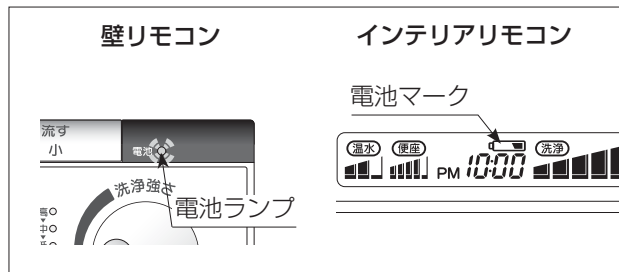
インテリアリモコンの場合、電池マークは表示していません。

※ 付属の電池は施工時の動作チェック用のため、寿命が短い場合があります。

※ リモコンが受光部と反対側の壁に設置してある場合、電池ランプまたは電池マークが点滅する前に使用できなくなる場合があります。

下記の要領で新しい電池に取り替えてください。

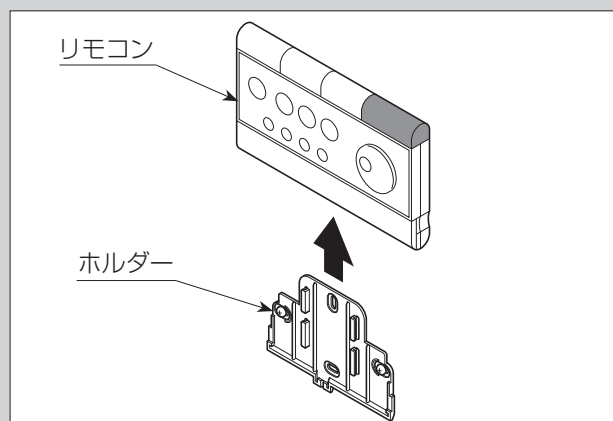
※ インテリアリモコンの電池交換は、インテリアリモコンに同梱の取扱説明書「リモコンの電池交換」をご覧ください。



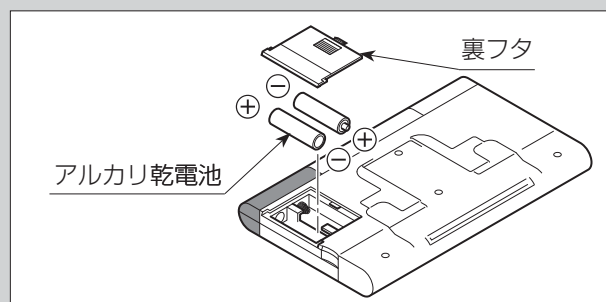
注意

- 電池のプラスとマイナスの向きをリモコンの表示通り正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
- アルカリ乾電池を使用してください。

1. リモコンを持ち上げて、ホルダーから外します。



2. 裏フタを外し、新しいアルカリ乾電池（1.5V 単三形、2本）に取り替えます。



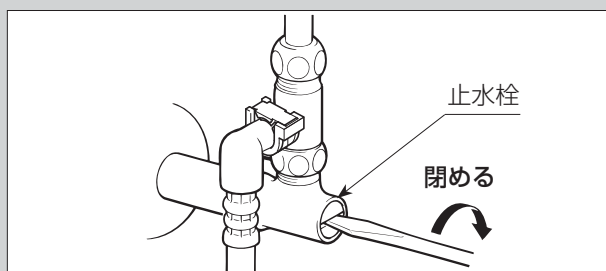
3. 裏フタを元通りにはめ、リモコンをホルダーに上から差し込みます。

《脱臭効果が弱くなった場合》

脱臭カートリッジにホコリ等が付着すると十分な脱臭ができなくなります。ニオイが気になりだしたら、お手入れしてください。

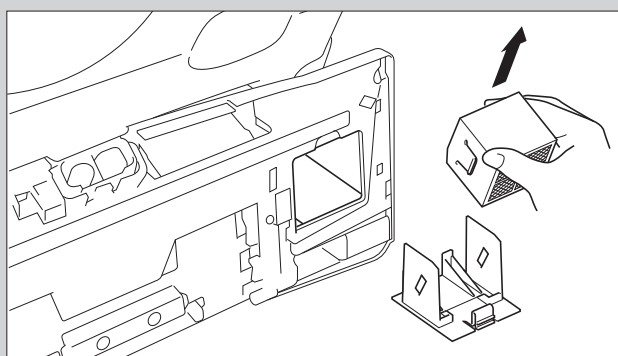
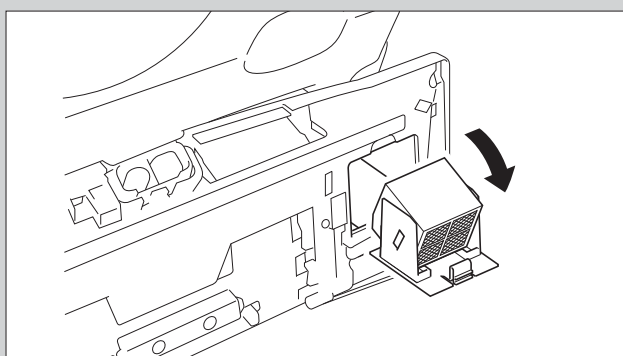
脱臭カートリッジのお手入れ方法

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 止水栓を閉めて給水を止めます。
3. 本体を便器から外します。
(☞ 39 ページ)



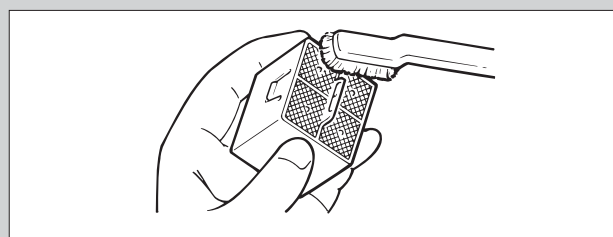
4. 本体底面にある、脱臭カートリッジを取り外します。

脱臭カートリッジ取付口フタを開け、フタを持ち上げてカートリッジごと外します。

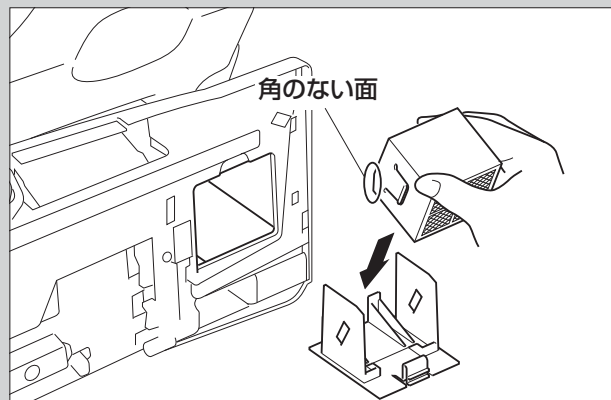


5. カートリッジのフィルターに付いているホコリ等を歯ブラシ等で取り除きます。

注意 脱臭カートリッジ本体は水洗いできませんのでご注意ください。



6. 脱臭カートリッジを組み付けます。
脱臭カートリッジの向きに注意してフタに差し込み、フタごと取付口に取り付けます。
7. 本体を便器に取り付けます。
(☞ 40 ページ)
8. 止水栓を開けて給水します。
9. 電源プラグをコンセントに差し込みます。



■脱臭カートリッジのお取替えについて

清掃してもまだニオイが気になる場合、脱臭カートリッジの寿命ですので、新品と交換してください。脱臭カートリッジの寿命は、通常使用で約 7 年です。

※ 脱臭カートリッジの寿命は、4 人家族（男性 2 人、女性 2 人）の平均使用時間を基本としています。

まずシャワートイレ使用開始日を右の日付記入欄に記入し、脱臭カートリッジ交換の目安としてください。

次回脱臭カートリッジを交換する場合は、脱臭カートリッジにある日付ラベルに使用開始日を記入してください。

シャワートイレ使用開始日をご記入ください。

年 月 日

※ お取替用の脱臭カートリッジのお求めは、64 ページ“別売品の購入方法”をご覧ください。

《本体を浮かせてそうじします／お掃除スライドアップ》

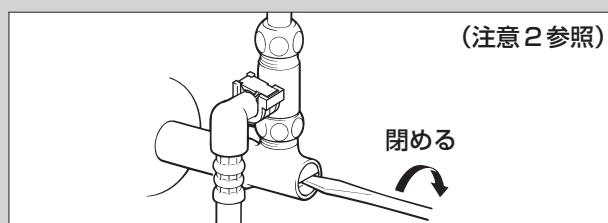
簡単に本体を浮かせて、便器と本体の間が掃除できます。日頃の汚れを手軽に掃除したいときに便利です。

1. 本体の浮かせかた

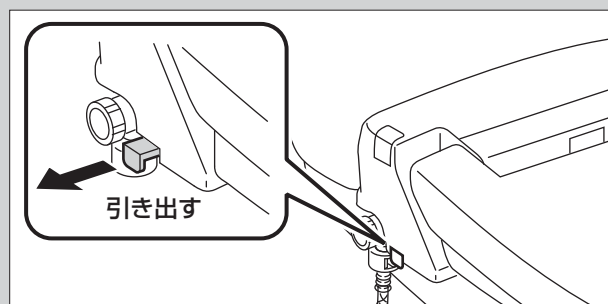
1. 電源スイッチを押して、電源を切ります。
(注意 1 参照)



2. 止水栓を閉めて給水を止めます。



3. ロックレバーを引いてロックを解除します。



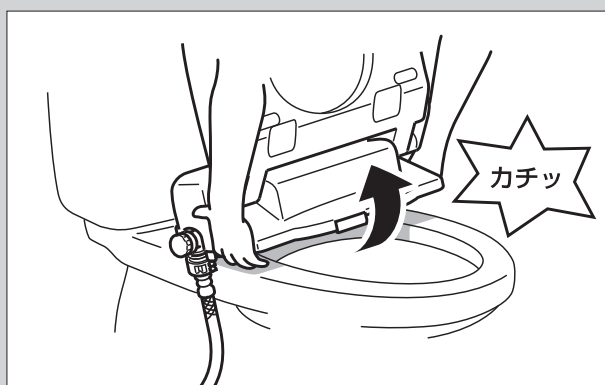
4. 本体を一番手前までスライドさせます。

※ 本体を完全に手前にスライドさせないと、浮かせることはできません。



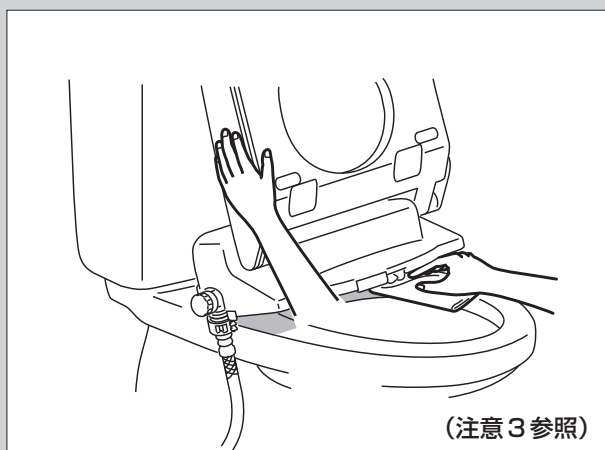
5. 便座・便フタを開き、本体手前側をロックするまで静かに浮かせます。(カチッと音がするまで浮かせます。)

※ 便フタがタンクに強く当たらないようにゆっくり持ち上げてください。



6. 便座を支えながら、便器と本体の間を掃除します。

※ 便器の掃除は、便器の取扱説明書をご覧ください。



- 注意** 1. 電源を切ってからスライドしてください。

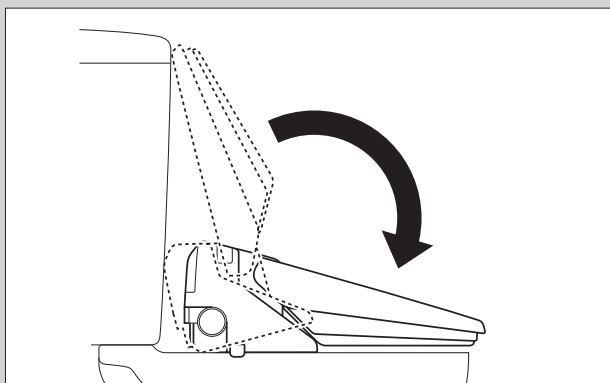
※ 故障の原因になります。

2. 止水栓は調節してありますので、元の位置 (どのくらい回したか) を覚えておいてください。

3. 本体が倒れて指を挟まないように掃除するときは、便座を支えながら行ってください。

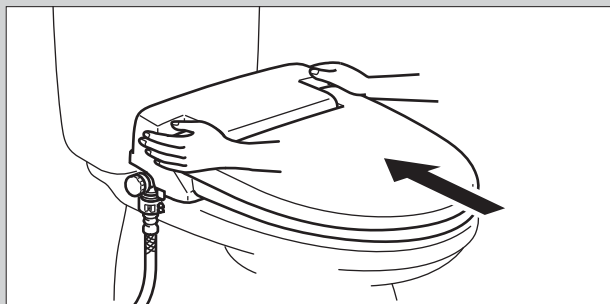
2. 本体の戻しかた

1. 便座・便フタをゆっくり降ろしながら本体を戻します。



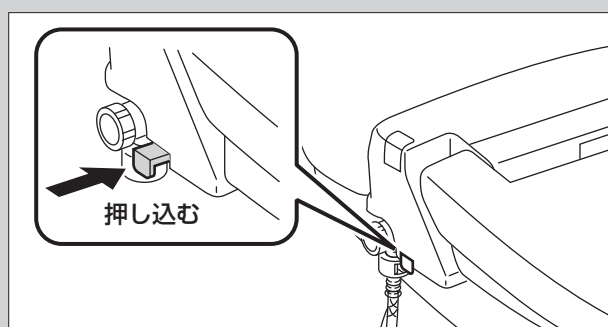
2. 本体を奥までスライドさせます。

※ 本体を完全に奥までスライドさせないと使用时、本体がぐらついたり、便器から外れることがあります。



3. ロックレバーを押し込んで、便座をロックさせます。

※ ロック後、本体をかるく前後左右に揺らして、確実に固定されていることを確認してください。



4. 止水栓を元の位置まで開き、給水します。

※ 各部に漏水がないか確認します。

5. リモコンの電源スイッチを入れます。

6. 最後に必ず試運転を行ってください。

(☞ 9、10 ページ)

注意

本体が確実に固定されていること（ロックレバーが確実に押し込まれていること）を確認してください。

※ ロックレバーが押し込まれていないと、本体がぐらつきます。

《本体を外してそうじします／本体スライド着脱》

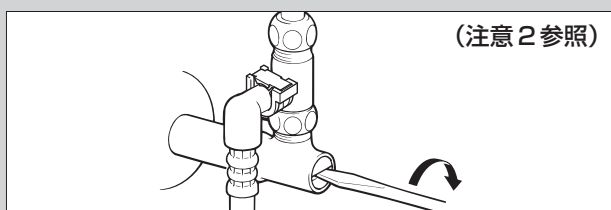
本体を外して、便器全体および本体の裏側が掃除できます。細かいところまでしっかりと掃除したいときに便利です。

1. 本体の外しかた

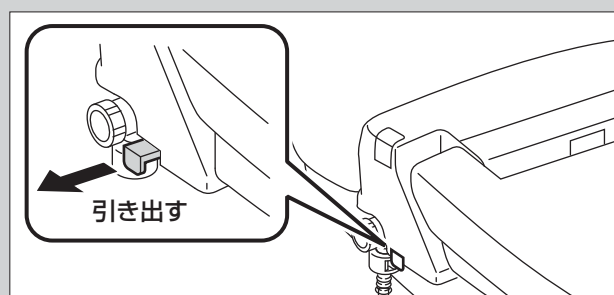
1. 電源プラグをコンセントから抜きます。

(注意 1 参照／次ページ)

2. 止水栓を閉めて給水を止めます。



3. ロックレバーを引いてロックを解除します。

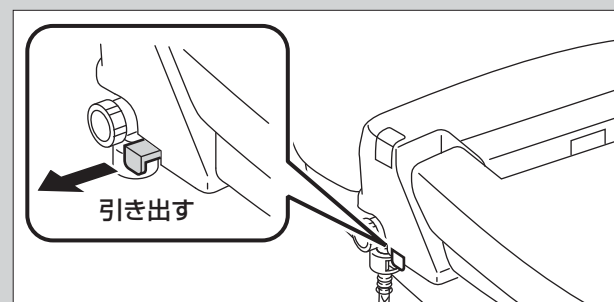


4. 本体を一番手前までスライドさせます。

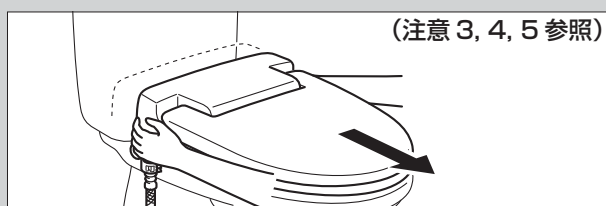
※ このとき、ロックレバーが戻ります。



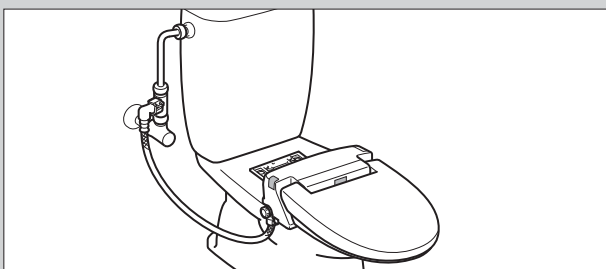
5. 再度、ロックレバーを引き出します。



6. 本体を手前にスライドさせて便器から外します。

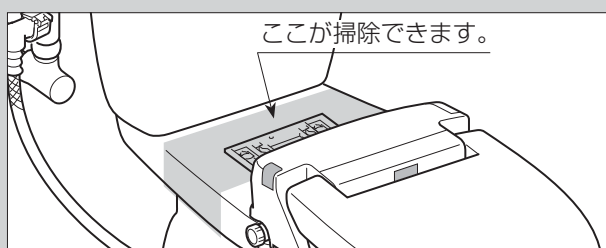


7. 本体を便器リム部に静かに置きます。



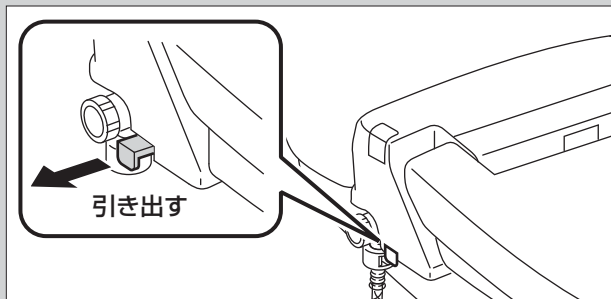
8. 本体の掃除は、柔らかい布で水ぶきしてください。

※ 便器の掃除は、便器の取扱説明書をご覧ください。

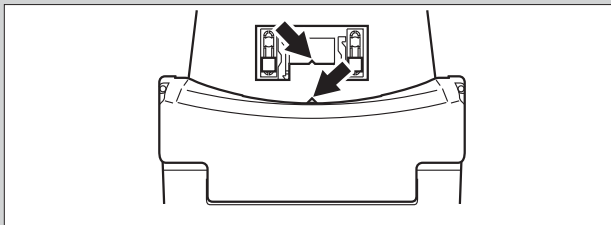


2. 本体の組み付けかた

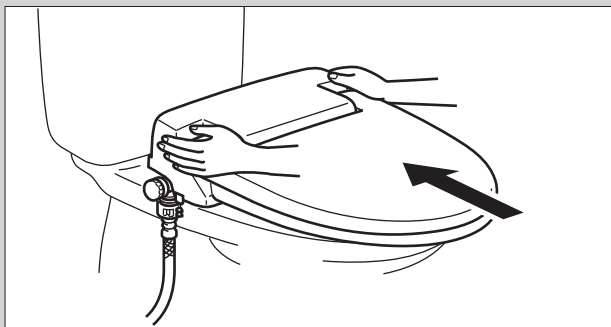
1. ロックレバーを引き出します。



2. シャワートイレ本体を便器の上に置き、本体着脱プレートの切り欠き部と本体背面部にある凸部を合わせます。

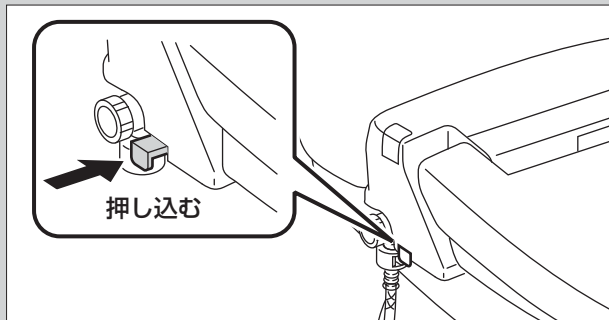


3. 本体をゆっくりと、奥に突き当たるまで押し込みます。



4. ロックレバーを押し込んで、便座をロックさせます。

※ ロック後、本体をかるく前後左右に揺らして、確実に固定されていることを確認してください。



5. 止水栓を元の位置まで開き、給水します。

※ 各部に漏水がないか確認します。

6. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

7. 最後に必ず試運転を行ってください。

(➡ 9、10 ページ)

注意

本体が確実に固定されていること（ロックレバーが確実に押し込まれていること）を確認してください。

※ ロックレバーが押し込まれていないと、本体がぐらつきます。

注意

1. 電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。

※故障の原因になります。

2. 止水栓は調節してありますので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

3. コード類や本体給水ホースを引っ張らないでください。

※破損や漏水の恐れがあります。

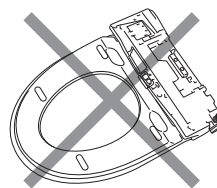
4. 本体の取外時や清掃時には、ていねいに扱ってください。

※漏水・故障の原因となります。

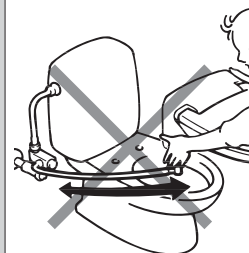
5. 本体は、絶対に裏返さないでください。また床に置かないでください。

※故障の原因になります。

● 電源を入れたまま裏返さないで！



● 引っ張らないで！



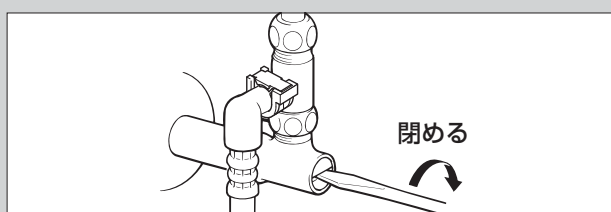
《シャワーが弱くなってきたなと思ったら》

シャワートイレを長期間使用してシャワーの勢いが弱くなりはじめたら、以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては2年に1回程度です。）

ストレーナーのおそうじのしかた

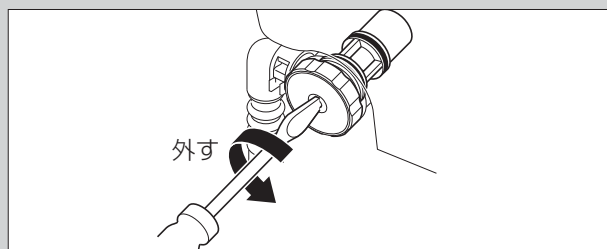
1. 止水栓を閉めて、給水を止めます。

※ 止水栓は調節してありますので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



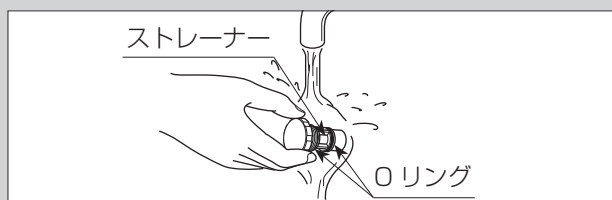
2. 工具を使って、本体左下のストレーナーを反時計回りに回して外します。

※ このとき少量の水がこぼれますので、ぞうきん等を下に置いてください。

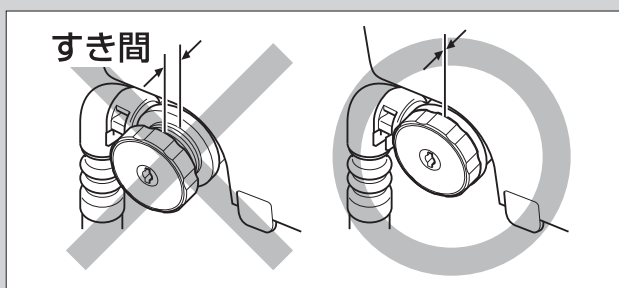


※ 工具を使用するスペースがない場合は、本体を便器から取り外してストレーナーを外します。
(☞ 39 ページ)

3. ストレーナー部やOリング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除きます。

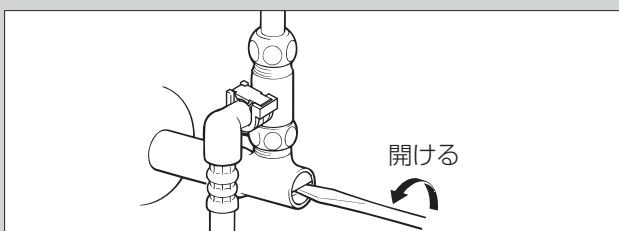


4. 工具を使って、ストレーナーを確実に取り付けます。



※ すき間がないようにしっかりと締め付けます。
※ 本体を便器から外した場合、元に戻します。
(☞ 40 ページ)

5. 止水栓を元の位置まで開きます。



6. 最後に必ず試運転を行ってください。 (☞ 9、10 ページ)

⚠ 注意

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかりと締めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認してください。
※ Oリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。



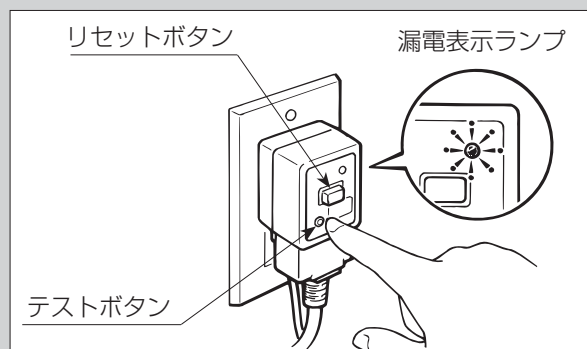
指示実行

《電源プラグ（漏電保護機能付）の点検》

電源プラグの故障は、思わぬ事故につながる可能性があります。必ず点検を行ってください。
(目安としては月に 1 ～ 2 回程度です。)

電源プラグの点検方法

1. 電源スイッチを押して「入」にし、本体表示部の電源ランプの点灯を確認します。
2. 電源プラグのテストボタンを押して、漏電表示ランプが点灯することを確認してください。
3. リセットボタンを押して漏電表示ランプが消灯することを確認してください。



注意 電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。

※ 電源ランプは、シャワートイレ本体の表示部にあります。(☞ 3 ページ)

《定期的な点検のお願い》

■ 負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検

負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検の目安は、
取付けの日から **6 年** 後です。

- 負圧破壊装置（バキュームブレーカー）が故障すると水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になりますので点検が必要です。

有料となりますが、定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検は、LIXIL 修理受付センターまでご依頼ください。

LIXIL修理受付センター

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

受付時間9:00～20:00（365日受付）

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support/>

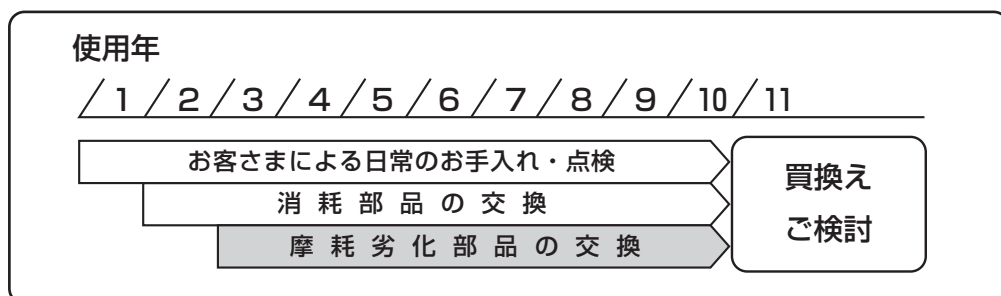
LIXIL 修理受付センターにご依頼した場合、点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

■ 定期的な部品交換のお願い

摩耗劣化する部品交換のお願い

- 部品が摩耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので交換が必要です。
- 摩耗劣化する部品の例
例）止水弁、温水タンク、洗浄ノズル、便座、便フタ、スローダウン、電動開閉ユニット、
温風ファン、脱臭ファン、部屋暖房ファン等
- 部品の交換については、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご依頼ください。
製品状況により、摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。

〈定期的な点検・部品交換の目安〉



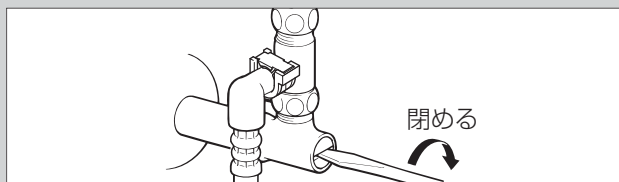
長期間使用しない場合

以下の場合には本体内部および給水ホースの水抜きを必ず行い、止水栓を閉め、電源を抜いてください。

- 旅行等で長い間、シャワートイレを使用しないとき（水が汚れて詰まりの原因になります）。
- 別荘等で使用しないとき（冬期、冷え込みが厳しいと、シャワートイレ内の水が凍って破損し、漏水する恐れがあります）。

1. 止水栓を閉めて、給水を止めます。

※ 止水栓は調節してありますので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



2. 洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜きます。

3. マッサージスイッチとノズルそうじスイッチを同じタイミングで6秒以上押します。

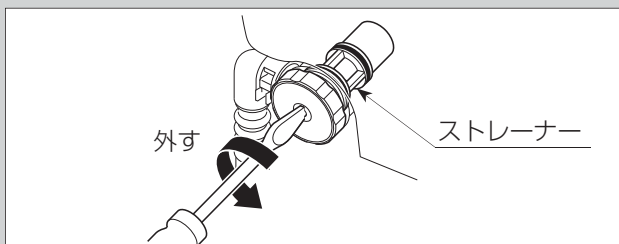
マッサージ



4. 電源プラグをコンセントから抜きます。

5. 本体給水ホースから水を抜きます。

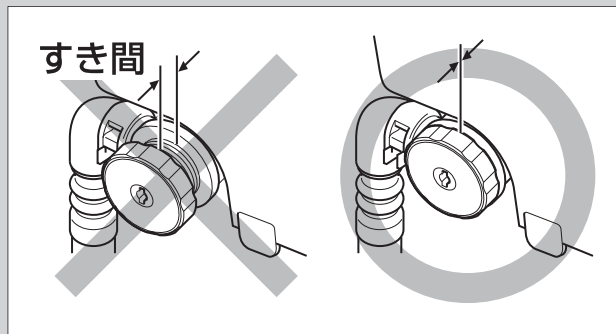
- ① 本体を便器から取り外します。（☞ 39 ページ）
- ② ストレーナーの下に洗面器等を置きます。
- ③ 工具を使ってストレーナーを外し、ストレーナー部やOリング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除きます。



- ④ 本体を傾けてストレーナー取付口から、本体給水ホース内の水を抜きます。



- ⑤ 工具を使って、ストレーナーを確実に取り付けます。



- ※ すき間がないようにしっかりと締め付けます。
- ※ 本体を便器に戻します。（☞ 40 ページ）

6. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞ 9、10 ページ）

⚠ 注意

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかりと締めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認してください。
※ Oリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。



指示実行

■もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、本体給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しなない場合は、温かいお湯に浸した布等で、本体給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意

- 本体給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。
※ 本体給水ホースが破損する恐れがあります。
- 凍結している部分によっては、解凍中に水が噴出することがあります。解凍中は、こまめに様子をうかがってください。

冬期凍結の恐れがある場合

冬期、冷え込みが厳しいと、シャワートイレ内の水が凍って破損し、漏水する恐れがあります。凍結破損を防止するためにそれぞれの環境にあった凍結防止方法を行ってください。

電源プラグはコンセントから抜かず、電源を入れておいてください。また、節電機能は解除してください。

一般的な凍結防止方法

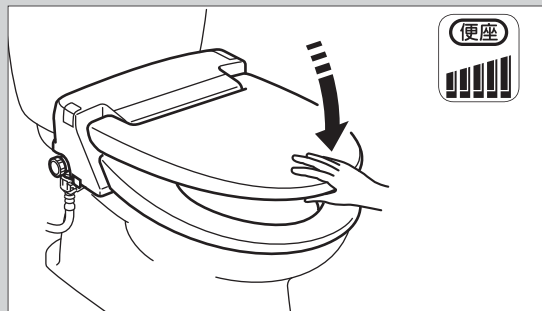
1. 便座温度スイッチを「高」にして便フタを閉じます。

節電を行っている場合は、節電を解除します。

2. 室内を暖房します。

トイレ室内を暖房します。

※もし室内が暖房できない場合は、以下の方法で凍結防止方法を行ってください。



自動凍結防止方法は**自動水抜き方式**と**自動流水方式**の2種類があります。

便器の凍結防止方式に従ってどちらかの方式を選択してください。

※便器の凍結防止方式：水抜き方式⇒1を選択してください。

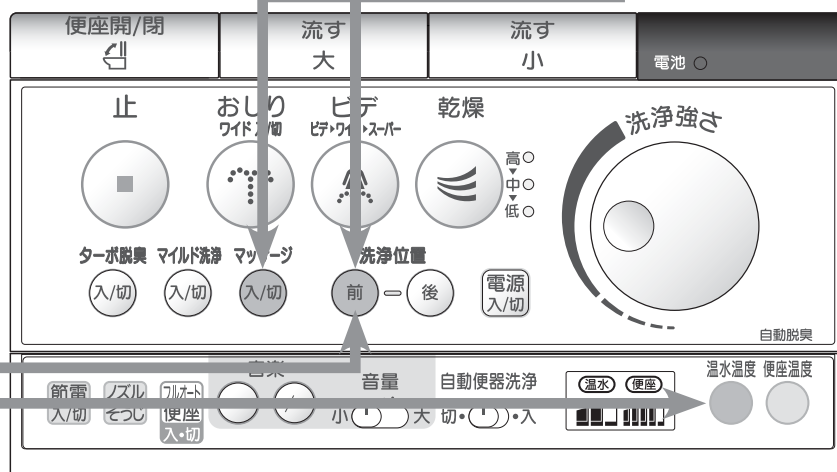
流水方式⇒2を選択してください。

1. **自動水抜き方式**： 脱座おきに、自動で水抜きを行い、凍結を防ぎます。

2. **自動流水方式**： 使われていない間、定期的に水が流れ、凍結を防ぎます。

1. 自動水抜き方式

- 1 温水温度スイッチと洗浄位置「前」スイッチを2秒以上押します。



※ 脱座約6秒後、水抜き（15秒間）を行います。

- 2 解除するときは、再び温水温度スイッチと洗浄位置「前」スイッチを2秒以上押します。

2. 自動流水方式

- 1 マッサージスイッチと洗浄位置「前」スイッチを2秒以上押します。

※ 使用されていない間、5分ごとに約300ccの水を排出し凍結を防ぎます。

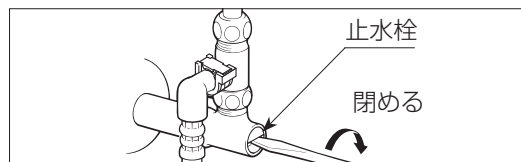
※ 使用中は水の排出は行われません。

- 2 解除するときは、再びマッサージスイッチと洗浄位置「前」スイッチを2秒以上押します。

■ 本体給水ホース・本体内からの水抜き方法

1. 止水栓を閉めて、給水を止めます。

※ 止水栓は調節してありますので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

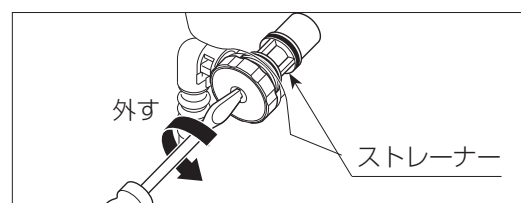


2. マッサージスイッチとノズルそうじスイッチを 同じタイミングで2秒以上押します。

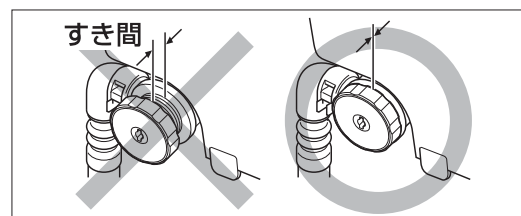
3. 電源プラグをコンセントから抜きます。

4. 本体給水ホースから水を抜きます。

- ① 本体を便器から取り外します。(☞ 39 ページ)
- ② ストレーナーの下に洗面器等を置きます。
- ③ 工具を使ってストレーナーを外し、ストレーナー部やOリング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除きます。
- ④ 本体を傾けてストレーナー取付口から、本体給水ホース内の水を抜きます。



- ⑤ 工具を使って、ストレーナーを確実に取り付けます。
 ※ すき間がないようにしっかりと締め付けます。
 ※ 本体を便器に戻します。(☞ 40 ページ)

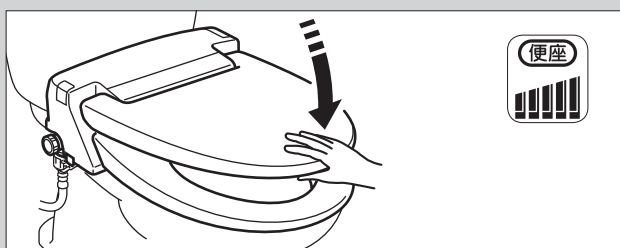


5. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。(☞ 9、10 ページ)

流動式タイプ便器を使用している場合の凍結防止方法

1. 便座温度スイッチを「高」にして便フタを閉じます。

節電を行っている場合は、節電を解除します。



2. 室内を暖房します。

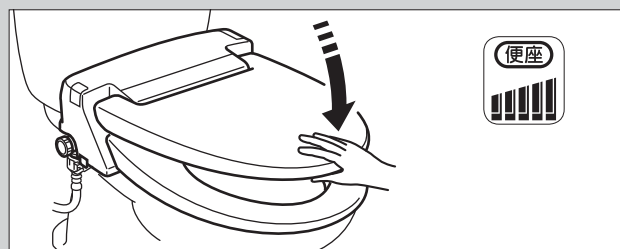
3. 便器本体の流動ハンドルを操作します。

便器本体※ず便器内に流れるようにします。

水抜式タイプの便器を使用している場合の凍結防止方法

1. 便座温度スイッチを「高」にして便フタを閉じます。

節電を行っている場合は、節電を解除します。



2. 室内（便器）の水抜栓を操作して、配管内の水を抜きます。

3. 洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜きます。

4. 前ページの「本体給水ホース・本体内部からの水抜き方法」にしたがって水を抜いてください。

5. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（➡ 9、10 ページ）

⚠ 注意

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認してください。
※ Oリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。



■もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、本体給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しなない場合は、温かいお湯に浸した布等で、本体給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意

- 本体給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。
※ 本体給水ホースが破損する恐れがあります。
- 凍結している部分によっては、解凍中に水が噴出することがあります。解凍中は、こまめに様子をうかがってください。

修理を依頼される前に

《故障かなと思ったら》

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

確認しても故障が直らない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

※「★」マークは、インテリアリモコンを使用している場合の参照先です。インテリアリモコンの取扱説明書をご覧ください。

全機能

現 象	原 因	処 置
すべての機能が動作しない (電源ランプが点灯しない)	電源コンセントに電気がきていますか。	停電、ブレーカー等を確認します。
	電源スイッチが「切」(電源ランプ消灯)になっていませんか。	電源スイッチを押して、表示部の電源ランプを点灯させます。(☞ 12 ページ)
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを完全に差し込みます。電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。(☞ 10 ページ)
	漏電していませんか。(漏電表示が点灯している。)	電源プラグのリセットボタンを押します。(☞ 42 ページ) それでもランプが点灯するようであれば漏電していますので、 電源プラグを抜き、修理を依頼してください。
	100V 以外の電圧がかかっていませんか。	電源プラグを抜き、修理を依頼してください。
リモコンのスイッチを押しても動作しない (電源ランプは点灯している)	便フタを(閉じた状態で)外していませんか。	便フタを開けた状態で再度外してください。(☞ 33 ページ)
	リモコンの電池が消耗していませんか。(電池ランプ点滅*)	新しい電池に交換します。(☞ 34 ページ、「★リモコンの電池交換」)
	リモコン内の電池の⊕⊖の方向が間違っていないですか。	正しい方向に入れます。(☞ 34 ページ、「★リモコンの電池交換」)
	リモコンの送信部、または受信部が汚れているか、水が付いていませんか。	汚れや水を取り除きます。
	インバータ照明を使用していませんか。	照明を消して動作を確認してください。

* : リモコンが受信部と反対側の壁に設置してある場合、電池ランプまたは電池マークが点滅する前に使用できなくなる場合があります。

おしり・ビデ洗浄

現 象	原 因	処 置
シャワーが出ない (次ページへつづく)	止水栓が閉じていませんか。	止水栓を反時計回りに回します。(☞ 9 ページ)
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。(☞ 41 ページ)
	水道圧が低いのですか。洗浄強さダイヤルが最弱付近になっていませんか。	洗浄強さダイヤルを「強」側に回します。(☞ 13、14 ページ、「★おしり・ビデ洗浄」)
	着座センサーが入っていますか。	便座に深く座る等、座りかたを変えます。(☞ 28 ページ)
	着座センサーが検知しにくい衣服を着ていませんか。	着座センサーに手等をかざします。(☞ 28 ページ)

おしり・ビデ洗浄（つづき）

現 象	原 因	処 置
シャワーが出ない （前ページより）	シャワートイレへの給水温度が高くなっていませんか。	故障ではありません。配管凍結防止ヒーター等により給水温度が約 40℃以上になった場合、配管内の高温水が抜けるまでシャワーが出ないことがあります。この場合は便器洗浄等をして配管内の高温水を抜き、再度おしり、ビデ等のスイッチを押してください。またこの現象が繰り返し起こる場合には、配管凍結防止ヒーター等の使用方法を見直してください。
シャワーが温かくない	温水温度が適切に調節してありますか。	温水温度スイッチを押し、 適当な温度に調節 します。（☞ 12 ページ、「★温水」）
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。（☞ 19 ページ、「★節電」）
シャワーが出るまでに時間がかかる	シャワートイレへの給水温度が低くなっていませんか。	故障ではありません。給水温度が低い冬期等、温水を出す準備をするために、シャワーが出るまでの時間が長くなる場合があります。
シャワーが弱くなる	シャワートイレへの給水温度が低くなっていませんか。	故障ではありません。 冬期等、給水温度が低くなると、洗浄強さが少し弱くなる場合があります。

温風乾燥

現 象	原 因	処 置
温風が出ない	着座センサーが入っていますか。	便座に深く座る等、座りかたを変えます。（☞ 28 ページ）
	着座センサーが検知しにくい衣服を着ていませんか。	着座センサーに手等をかざします。（☞ 28 ページ）
温風が暖かくない	乾燥温度が適切に調節されていますか。	乾燥スイッチを押し、 適当な温度に調節 します。（☞ 16 ページ、「★乾燥」）
		使用条件により温度の感じ方に差がでる場合があります。温風温度は国際電気標準会議 (IEC) 基準に準拠しています。 (IEC:International Electrotechnical Commission)
温風が途中で止まる	4 分以上使っていませんか。	再度、乾燥スイッチを押します。（☞ 16 ページ、「★乾燥」）

暖房便座

現 象	原 因	処 置
便座が暖かくない	便座温度が適切に調節されていますか。	便座温度スイッチを押し、 適当な温度に調節 します。（☞ 12 ページ、「★便座」）
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。（☞ 19 ページ、「★節電」）
長く座っていると便座がぬるくなる	便座ヒーターオート OFF 機能が働いていませんか。	便座ヒーターオート OFF 機能を解除します。（☞ 25 ページ、「★より快適な機能」）

脱臭

現 象	原 因	処 置
脱臭ファンが回りっぱなしになる	着座センサーが何かで覆われていませんか。	着座センサーを覆っているものを取り除きます。
	着座センサーが汚れていませんか。	センサー部をやわらかい布で水ぶきします。
	不適切な便フタカバーを使用していませんか。(着座センサーに布が掛かっていませんか。)	便フタカバーを外して使用してください。
脱臭ファンが回らない	脱臭が「切」にセットしてありませんか。	脱臭を「入」にします。 (☞ 17 ページ、「★脱臭」)
脱臭効果が弱くなった(ニオイが気になる)	脱臭カートリッジにホコリ等が付着していませんか。	脱臭カートリッジを掃除してください。 (☞ 35 ページ)
	脱臭カートリッジが寿命ではありませんか。	脱臭カートリッジを交換してください。 (☞ 35 ページ)

フルオート便座・便座電動開閉

※機種によっては、この機能がない場合があります。

現 象	原 因	処 置
便座・便フタがボタンと落ちる	電動開閉中に便フタを押えませんでしたか。	再度便座電動開閉スイッチを押し、電動開閉しない場合は、コンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。
	市販の便フタカバー、便座カバーが重い、または引っかかっていますか。	便フタカバー、便座カバーを外して使用してください。
便フタが自動開閉しない または便座が電動開閉しない	フルオート便座スイッチが「切」になっていませんか。	フルオート便座スイッチを「入」または「1」か「2」にします。 (☞ 21 ページ、「★フルオート便座」)
	市販の便フタカバー、便座カバーが重い、または引っかかっていますか。	便フタカバー、便座カバーを外して使用してください。
近づいても便フタが開かない	人体検知センサーが汚れていませんか。	センサー部を柔らかい布で水ぶきしてください。(☞ 28 ページ)
便フタが開きっぱなしになっている。 または、人がいなくても開閉を繰り返している		

修理を依頼される前に

リラックスミュージック

※機種によっては、この機能がない場合があります。

現 象	原 因	処 置
音楽が出ない	SDカードが入っていますか。	挿入口にSDカードをしっかりと差し込みます。(☞ 65 ページ)
	オート音楽再生を「切」にしていますか。	オート音楽再生を「入」にします。 (☞ 23 ページ、「★リラックスミュージック」)

フルオート便器洗浄

※機種によっては、この機能がない場合があります。

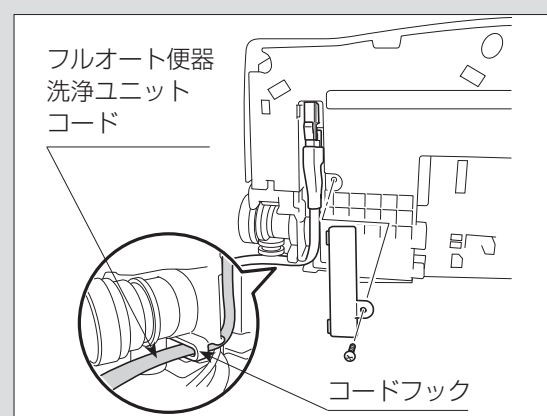
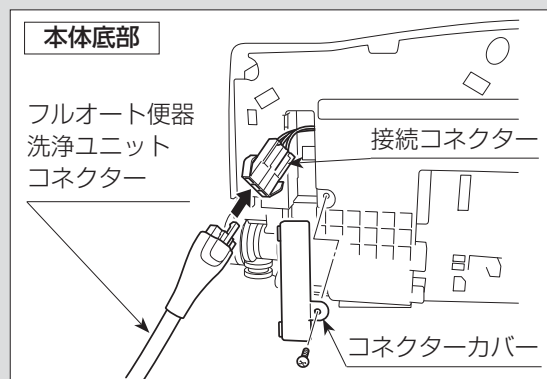
現 象	原 因	処 置
自動便器洗浄時： ● 自動で動かない ● 「大」・「小」時、逆方向に動く ● 動作中に異音が生じる	自動便器洗浄スイッチが「切」になっていませんか。	自動便器洗浄スイッチを「入」にします。 (☞ 20 ページ、「★フルオート便器洗浄」)
	自動便器洗浄ユニットのコードが外れていませんか。	コネクターを接続してください。(下記参照)
	フルオート便器洗浄の設定(モード)が便器に合っていない。	「フルオート便器洗浄ユニット」の施工説明書をご覧ください。モードの設定変更をするか、お求めのシャワートイレ取扱店に連絡してください。

■フルオート便器洗浄モード設定の変更方法〈フルオート便器洗浄ユニット付の場合〉

	壁リモコンの場合	インテリアリモコンの場合
「大小洗浄」⇄「大のみ洗浄」の切替操作 ※元に戻るのも同じ方法で行います。	ノズルそうじスイッチ + ビデスイッチ 同じタイミングで 6 秒間押す。	節電スイッチ + ビデスイッチ 同じタイミングで 6 秒間押す。
「反時計方向」⇄「時計方向」の切替操作 ※元に戻るのも同じ方法で行います。	電源入 / 切スイッチ + ノズルそうじスイッチ 同じタイミングで 6 秒間押す。	節電スイッチ + おしりスイッチ 同じタイミングで 6 秒間押す。

■フルオート便器洗浄ユニットコネクターの接続方法〈フルオート便器洗浄ユニット付の場合〉

1. 電源を「切」にします。
2. 本体をスライド着脱で便器から外し、便器の上に立てます。(☞ 39 ページ)
3. プラスドライバーを使ってねじを外し、コネクタカバーを外します。
4. 中からコネクターを取り出し、フルオート便器洗浄ユニットのコネクタと接続します。
5. 接続したコネクタを本体内部に納め、フルオート便器洗浄ユニットコードをコードフックにかけます。
6. コネクタカバーを取り付け、ねじを締め付けて固定します。
7. 本体を便器に取り付けます。(☞ 40 ページ)
8. 電源を「入」にします。



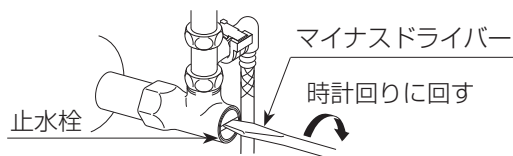
《フロート弁・鎖の調節》

洗浄ハンドルを回しても洗浄水が流れなかったり、流れっ放しなどの不具合は、ロータンク内にあるフロート弁・鎖の調節不足が考えられます。以下の要領で調節してください。

タンクフタの取外し

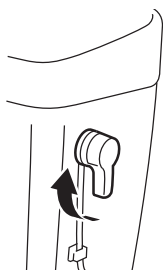
1.「止水栓」を閉めて、給水を止める

※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



2. 洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を抜く

※ 洗浄水が流れない場合は、タンクフタを外し、中の水を汲み出するか、フロート弁の鎖を引っ張って水を流し出します。ご注意ください。

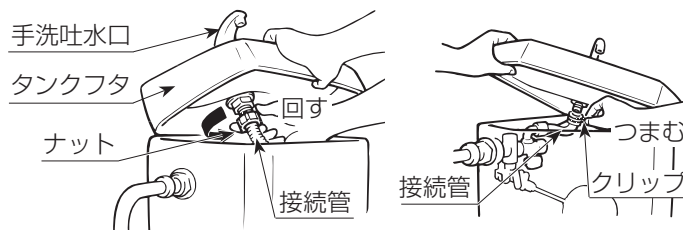


3. タンクフタをロータンクから外す

手洗吐水口付は、ゆっくりとフタを持ち上げて中を見て、手洗吐水口と接続管がナットか、またはクリップで接続していることを確認します。

ナットやクリップをゆるめ、フタから接続管を外して、フタを取り外してください。

※ ナットやクリップがない場合もあります。



注意

● 手洗吐水口の場合は、フタを外したら再び取り付けるまで止水栓を開けないでください。

※ トイレ内をぬらす恐れがあります。

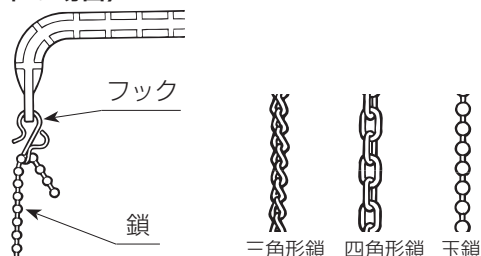
修理を依頼される前に

フロート弁・鎖の調節

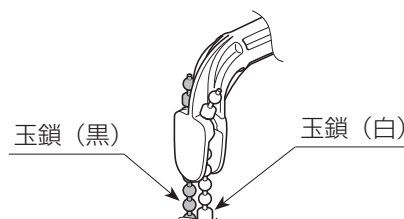
1. タンクフタを外したら、ロータンク内の鎖の形状を確認する

※鎖の形状により、調節方法が異なる場合があります。

〈鎖が1本の場合〉



〈鎖が2本の場合〉



〈鎖が1本の場合〉

2. フロート弁・鎖の状態を確認する

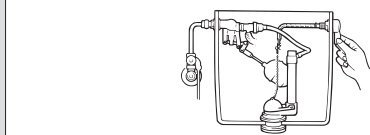
現象	洗浄水が流れない		流れっ放し
	鎖が外れている	鎖がたるんでいる	鎖が張りすぎ
原因	外れている 上がらない	たるみすぎ ハンドルを回しても上がらず、洗浄しない	張りすぎ 浮いている

3. 鎖の調節を行う

- ① レバーの先端を垂直にたらしのまま、フロート弁が上がらない程度に鎖を張り、フックの鎖掛け部に合わせます。

(参考)

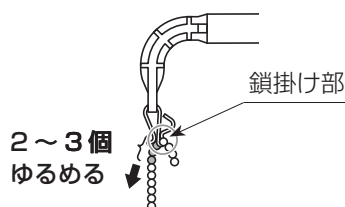
- ストッパーがないタイプは、フロート弁が最も持ち上がる位置まで鎖を引き上げます。



- ② 鎖を合わせた位置からゆるめます。

(参考)

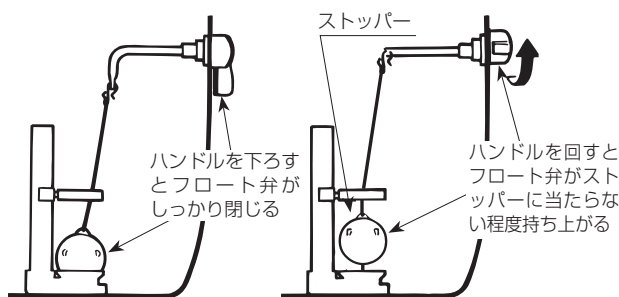
- 鎖の種類によって、ゆるめる個数がちがいます。
 - ・ 三角形鎖、玉鎖 : 2～3 個程度
 - ・ 四角形鎖 : 1 個程度
 - ・ ストッパーがないタイプ : 3～4 個程度



- ③ 洗浄ハンドルを操作してレバーおよびフロート弁がスムーズに動くことを確認します。

4. 玉鎖の取付けを確認する

適当な長さ

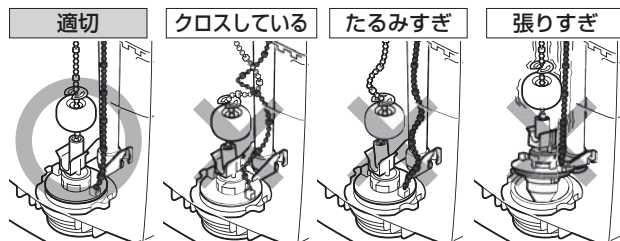


注意

- 鎖やレバーが浮玉など他のものに触れたり、引っ掛かりがないようにしてください。
- 十分に水が流れなかったり、水が流れっ放しとなる原因となります。

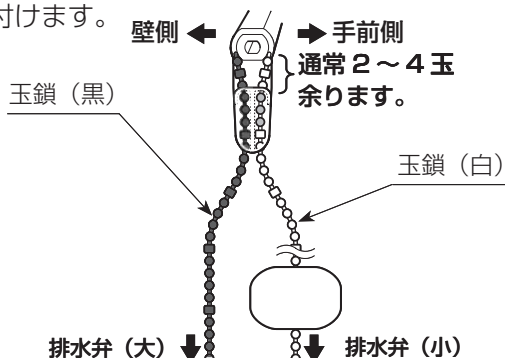
〈鎖が 2 本の場合〉

2. フロート弁・鎖の状態を確認する



3. 鎖の調節を行う

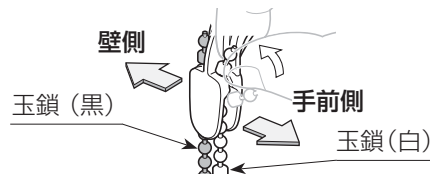
レバーの先端を垂直にたらしのまま、フロート弁が上がらない程度に鎖を張り、玉鎖をハンドルに取り付けます。



注意

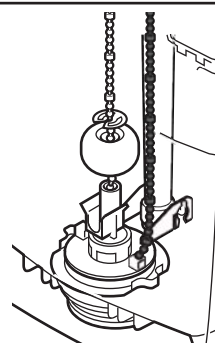
● 玉鎖は手前が白、壁側が黒になるように取り付けてください。

※ 反対に取り付けると洗浄不良の原因になります。



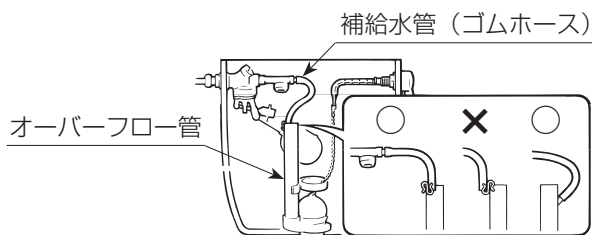
4. 玉鎖の取付けを確認する

適当な長さ



タンクフタの取付け

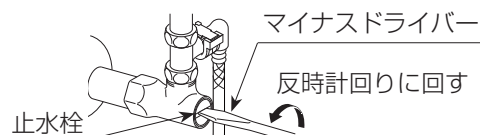
1. 補給水管がオーバーフロー管に固定されていることを確認する〈補給水管がある場合〉



2. タンクフタをのせる

手洗吐水口付の場合は下記をご覧ください。

3. 「止水栓」を元の位置まで開く



4. 流す【大】を押す

または、本体の洗浄ハンドルを回して、正常に洗浄水が流れることを確認する

※ 十分に水が流れなかったり、水が流れっ放しとなる場合は、再度鎖を調節してください。(☞ 53 ページ)

注意

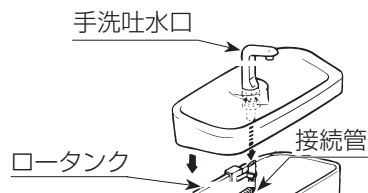
● 水がロータンクから漏れたり、水が出ない場合は、すぐに止水栓を締めてタンクフタを取り付け直してください。

修理を依頼される前に

〈手洗吐水口付の場合〉

差し込むタイプ

吐水口と接続管を合わせて、ゆっくりとタンクフタを下ろして差し込みます。



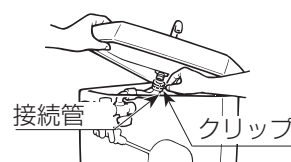
ナットで接続するタイプ

吐水口に接続管のナットを回して、接続します。



クリップで固定するタイプ

あらかじめクリップを接続管にはめておき、吐水口に接続管を差し込んで、クリップでしっかりと固定します。

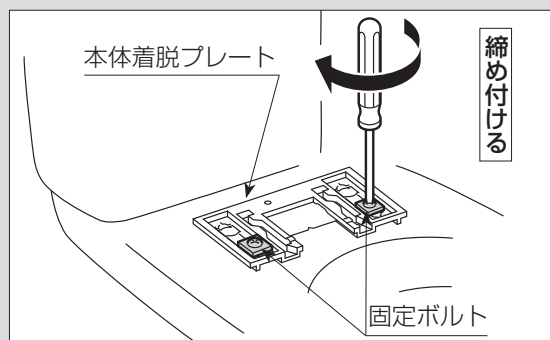


その他

現 象	原 因	処 置
本体がガタつく、ずれる	ロックレバーを押して本体をロックしていますか。 本体着脱プレートがゆるんでいませんか。	ロックレバーを押し込んで本体をロックさせます。(☞ 40 ページ) 本体着脱プレートの固定ボルトをプラスドライバーで締め付け直します。(下記参照)
本体から“グググッ”と音がする ●電源プラグをコンセントに差し込んだとき ●電源スイッチを入れたとき ●おしり・ビデ洗浄を止めたとき	故障ではありません。 シャワートイレが正常に作動するためにモーターが動いている音です。洗浄強さの調節や洗浄位置の調節に、異常がなければ問題ありません。	
電源ランプが点滅している	温水・便座のいずれかの機能に不具合が生じている。 点検時期が来ている。 止水栓が閉まっている等により、通水状態になっていない。	電源スイッチを「切」にしても点滅している場合は、故障していますのでコンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。 電源スイッチを「切」にして消灯する場合は、点検時期ですのでお早めに点検をお受けください。 止水栓を開ける等、通水できる状態にしてください。
便座裏側にある後ろ足（奥の出っぱり）が便器に着いていない（浮いている）	故障ではありません。 後ろ足（奥側の出っぱり）は浮く設計になっていますので、そのままご使用ください。	
お買い上げ時の設定に戻したいとき	〈より快適な機能〉で変更した機能を、全てお買い上げ時の設定に戻します。	「おしり」、「温水温度」、「便座温度」スイッチ3つを同じタイミングで2秒以上押します。 (☞ 26 ページ、「★より快適な機能」)
漏水している	ストレーナーがゆるんでいませんか。 ストレーナーにゴミが付着していませんか。 湿度が高く結露していませんか。	ストレーナーを締めてください。 (☞ 41 ページ) ストレーナーを掃除してください。 (☞ 41 ページ) こまめにふきとってください。 また換気を十分にしてください。
便座裏に水滴が付着する	シャワーの飛び散りにより便座裏に水滴が付着した。	こまめにふきとってください。また、深く腰掛けてご使用いただければシャワーの飛び散りが少なくなります。

■本体着脱プレート固定方法

1. 本体をスライド着脱で便器から外します。
(☞ 39 ページ)
2. プラスドライバーを使って、本体着脱プレート内にある2本の固定ボルトを上から押すようにして締め付けます。
3. 本体を元に戻します。(☞ 40 ページ)



安全・安心にお使いいただくために

温水洗浄便座は電気製品のため、長期間ご使用いただくうちに経年劣化により事故に至る恐れがあります。また、故障したままご使用を続けると製品事故に至る可能性がありますので、故障の場合はすぐにご使用を中止し、販売店、工事店または LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。

1. 所有者登録のお願い

シャワートイレを安全かつ安心してお使いいただくために、製品安全や保守に関わる情報をご提供できるよう、所有者登録をお願いしております。所有者登録のお手続きは、Web での登録、または専用ハガキに必要事項をご記入の上、当社までご返送ください。

詳しくはご購入時にお渡しの「保証書・所有者登録のお願い」をご覧ください。

※ 非住宅でご使用のお客さまは Web のみでの登録となります。

※ ご登録等をされるときには、便フタ裏または製品本体に貼ってあるシールが必要となります。決してはがさないようにしてください。

2. 点検時期お知らせ表示（タイムスタンプ）について

製品のご使用を開始して約 10 年経過後に、電源ランプが連続して 1 秒間に約 5 回の点滅を繰り返します。

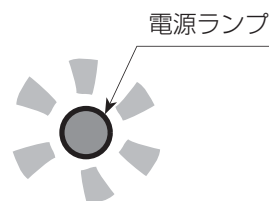
この表示は、お客さまにご安心してご使用いただくための機能であり、機器の故障ではなく、長年のご使用で製品が安全に使用されているか、また劣化や故障がないかを確認する点検時期がきたことをお知らせするものです。

当社では「おまかせ点検（有料）」をご用意しております。

この機会に、内部的な確認を含んだ点検をおすすめいたします。

※お客さまの安心・安全を目的とした表示のため、お客さまによる操作ではこの表示を消灯することはできません。LIXIL トータルサービスのサービスマンによる「おまかせ点検（有料）」をお受けいただき、安全を確認した上で消灯いたします。

※ 詳しくは、お客さま相談センターへお問い合わせください。（TEL 0120-179-400）



3. セルフチェック項目

シャワートイレの日常的な安全点検は、ご自身でも行うことができます。

下記のチェック項目をもとに、定期的な点検をお願いいたします。

点検をしていただいても故障が直らない場合や調子が悪い場合は、LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

温水洗浄便座セルフチェック表

製品を末長くお使いいただくために、下のチェック項目により、定期的な点検をお願い致します。

セルフチェックを行う前に、シャワーや温風などの各機能が正常に作動するか確認してください。

1つでも
該当する
場合

次のような症状は、火災や感電、室内浸水の原因になります。

電源プラグを抜き止水栓を閉めて、直ちに販売店か工事店または LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。

		点検目安※	実施日					
便座・便座コード 便座や本体、便座コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。								
	① 本体や便座にひびや割れがありませんか？ ゴム足は外れていませんか？	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
	② 便座が異常に熱いときや冷たいときはありますか？	月1回	/ / / /	/ / / /	/ / / /	/ / / /	/ / / /	/ / / /
	③ 便座の開閉はスムーズですか？便座のガタツキはありませんか？	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
水漏れ 本体や止水栓まわりから水漏れしている状態で使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。								
	④ 水漏れがありませんか？ 同時に、ロータンクの中の金具や浮き玉の動き、洗浄ハンドルの戻りなど、不具合がないことを確認してください。	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
電源コード・電源プラグ 温水洗浄便座の電源コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。								
	⑤ 電源コードが熱くなっていますか？傷んだり、挟み込んだりしていませんか？	月1回	/ / / /	/ / / /	/ / / /	/ / / /	/ / / /	/ / / /
	⑥ シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障（異臭・異音）していませんか？	月1回	/ / / /	/ / / /	/ / / /	/ / / /	/ / / /	/ / / /
	⑦ 電源プラグにほこりがたまっていますか？ はい ☐ → ほこりを取り除いてください。	月1回	/ / / /	/ / / /	/ / / /	/ / / /	/ / / /	/ / / /

※点検目安は弊社お勧めの期間です。

セルフチェックを行う前に、本ページの温水洗浄便座セルフチェック表の部分をコピーしてお使いください。

4. 点検の修理、お申し込みは

LIXIL修理受付センター

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

受付時間9:00～20:00（365日受付）

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support/>

安全・安心にお使いいただくために

5. 製品の長期使用に関する本体表示について

(本体への表示内容)

- 経年劣化により事故に至る恐れがあることをお知らせするために、本体に以下の内容の表示をしております。

■製造年（本体に西暦4桁で表示してあります。）

	【想定安全使用期間】 10 年 想定安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・ケガ等の事故に至る恐れがあります。
---	--



(想定安全使用期間とは)

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で適正な取扱いで使い、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として想定されています。

この想定安全使用期間は無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を補償するものではありません。

■標準使用条件

環境条件	電圧・周波数	AC100V・50/60Hz	機器の定格電圧・周波数による
	温度	20℃	JIS A4422 による
	給水温度・給水圧	15℃・0.2MPa	JIS A4422 による
負荷条件	定格負荷	製品仕様による標準設置状態	JIS A4422 による
想定時間	4 人家族（男性2人、女性2人）において、大便：1 回 / 日・人、小便男性：4 回 / 日・人、小便女性：4 回 / 日・人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ 15 秒間とする。		JIS A4422 による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常的使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

参考

経年劣化について

「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

アフターサービス

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かなと思ったら」(48 ページ)を参照してください。

それでも故障が直らない場合は、お求めの取扱店またはLIXIL 修理受付センターにご相談ください。

なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- 取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- コードの傷みやコンセントのガタつき
- コンセントや電源プラグ、コードの過熱

上記の場合、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

■他社製タンクにフルオート便器洗浄ユニットを取り付けている場合

タンク内の部品による不具合・故障において、フルオート洗浄ユニット以外の部品が原因の場合、保証の対象外となります。

※フルオート便器洗浄ユニットとは、自動便器洗浄するためのユニットであり、洗浄ハンドルからモーター部、ハンドルレバーまでを示します。それ以外の部品(鎖・フロートゴム等)は、保証の対象外となります。

⚠ 警告

シャワートイレ本体、電源プラグやコードが故障(異音・異臭・発煙・高温・割れ・漏水)した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉め、修理を依頼し、故障したまま使用しないでください。

※感電・火災・漏水の恐れがあります。



指示実行

⚠ 警告

修理技術者以外の方は、分解したり修理・改造は行わないでください。

※感電・火災・ケガの原因になります。



分解禁止

シャワートイレ本体および給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めてください。

※感電・火災・室内浸水の原因となります。



指示実行

2. 保証書をご覧ください

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から2年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

■保証期間中の修理

修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

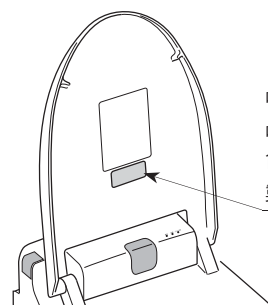
■連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 品名・品番・色番・製造番号
(便フタ裏または製品本体に貼ってあるシールをご覧ください。)
3. お取付日(保証書をご覧ください。)
4. 故障内容・異常の状況(できるだけ詳しく)
5. 訪問ご希望日

※ご登録等をされる際には、便フタ裏または製品本体に貼ってあるシールが必要となります。決してはがさないようにしてください。

■保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。料金の内訳は、技術料 + 出張料 + 部品代です。



品名
品番
色番
製造番号

4. 補修用性能部品の最低保有期間

シャワートイレの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後 6 年です。

点検・修理の申し込みの際にお問い合わせください。

保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承ください。

※ 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

- 負圧破壊装置（バキュームブレーカー）… 6 年ごとに点検
- ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買い上げより 3 年たったもの
- 温泉地域および海岸付近等、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの
- 長期間のご使用により電源ランプが点滅したら

定期点検については、LIXIL 修理受付センターまでご相談ください。

点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

6. 商品についての使い方・お手入れ方法等のお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00～18:00

土・日・祝日 9:00～17:00

（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※ フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。

TEL : 0562-40-4050

FAX : 0562-40-4053

7. 商品についての修理のご依頼は

LIXIL修理受付センター

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

受付時間 9:00～20:00（365日受付）

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support/>

■延長保証について

通常、保証期間は 2 年間ですが、「所有者登録」されまると無料でさらに延長されます。

Web からご登録いただくか、同梱の「所有者登録ハガキ」に必要事項を記入し、郵送してください。

※ 詳しくはご購入時にお渡しの「保証書・所有者登録のお願い」をご覧ください。

※ 非住宅でのご使用は、Web でご登録いただいた場合のみ 1 年間延長され、計 3 年間保証になります。

仕様

品 番				CW-E59 型		CW-E57 型		CW-E55 型		CW-E55A 型		
定 格 消 費 電 力				AC100V、1200W、50/60Hz								
給 水 方 式				水道直結式								
使 用 水 道 圧 範 囲				0.05 ～ 0.75MPa								
リ モ コ ン		壁 リ モ コ ン		電源：単三形アルカリ乾電池 2 本使用								
		インテリアリモコン		電源：単三形アルカリ乾電池 2 本使用								
商 品 寸 法				幅 425mm × 奥行 556mm × 高さ 154mm								
商 品 質 量				約 4.5kg		約 4.4kg		約 4.3kg				
洗 浄	温 水 タ ン ク ・ 容 量			連続出湯式								
	ノ ズ ル			おしり・ビデ専用電動モーター式								
	ノ ズ ル 穴	お し り 洗 浄		φ 1.0 × 1 ケ								
		ビ デ 洗 浄		φ 0.9 × 5 ケ								
	吐 水 量	お し り 洗 浄	パワフル	0.5L/ 分								
			マイルド	0.5L/ 分								
		ビ デ 洗 浄	0.55L/ 分									
	温 水 ヒ ー タ ー 容 量			1090W								
	温 水 タ ン ク 内 制 御 温 度			切 (水温)・低 (約 36℃)・中 (約 38℃)・高 (約 40℃)								
	安 全 装 置			サーモスタット・温度ヒューズ・流量センサー								
快 適 洗 浄 機 能	●ワイド洗浄				●洗浄位置調節							
	●おしりマッサージ洗浄				●スーパーワイドビデ洗浄							
温 風 乾 燥	風 量			0.3m³/ 分								
温 風 乾 燥	温 風 ヒ ー タ ー 容 量			400W								
温 風 乾 燥	温 風 温 度 調 節			低 (室温)・中・高								
温 風 乾 燥	安 全 装 置			温度ヒューズ・サーモスタット								
暖 房 便 座	便 座 ヒ ー タ ー 容 量			45W								
暖 房 便 座	表 面 温 度			切 (室温)・低 (約 28℃) ～ 高 (約 40℃)						切 (室温)・低 (約 28℃) ～ 高 (約 36℃)		
暖 房 便 座	温 度 調 節			6 段階切替 (マイコン制御)								
暖 房 便 座	安 全 装 置			温度ヒューズ								
脱 臭	脱 臭 方 式			脱臭カートリッジによる化学吸着方式								
	脱 臭 能 力			ターボ時：0.17m³/分、フルパワー脱臭時：0.14m³/分、パワー脱臭時：0.11m³/分								
	脱 臭 カ ー ト リ ッ ジ 寿 命			約 7 年								
音 楽 再 生	出 力			1.5W × 2(ステレオ)								
	記 憶 媒 体			SD カード								
	圧 縮 形 式			MP3								
節 電 機 能				スーパー節電 (24 時間節電)、ワンタッチ節電 (8 時間後自動復帰)								
省 エ ネ 区 分				瞬間式								
年 間 消 費 電 力 量				149 (204) kWh/ 年 *				146 (201) kWh/ 年 *		133 (179) kWh/ 年 *		
電 源 コ ー ド				有効長さ 1.2m (漏電保護機能、アースコード付き)								
そ の 他 の 機 能				●着座センサー ●大型兼用便座 (サイドライン) ●便座・便フタスローダウン ●上面施工 ●電源スイッチ (リモコン) ●便フタワンタッチ着脱 ●本体スライド着脱 ●お掃除スライドアップ ●フルオート便器洗浄 (E59Q・E57Q・E55Q・E55AQ) ●ノズルオートクリーニング ●ノズルシャッター着脱								

* 省エネ法 (2012 年度基準) に基づいた測定値。() 内は、タイマー節電機能を使用しない場合の年間消費電力量。

注意 この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。

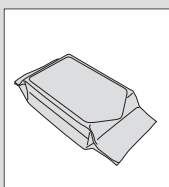
別売品のご案内

当社では、快適なトイレ空間作りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

別売品について

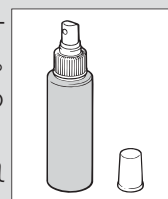
■トイレ用おそうじティッシュ (品番：CWA-36-4SET)

プラスチックを傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。使用后、便器にそのまま流せます。(☞ 30 ページ)



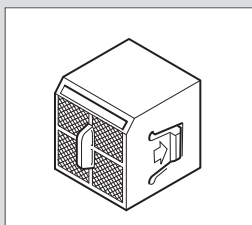
■シャワートイレお掃除クリーナー (品番：CWA-20)

プラスチックを傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふきとるだけ。脱臭剤配合で便器にもご使用になります。(☞ 30 ページ)



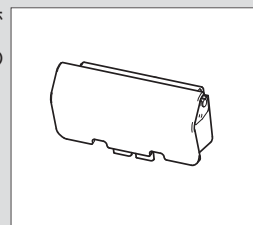
■取替え用脱臭カートリッジ (品番：CWA-29)

脱臭カートリッジの寿命は、約7年です。ニオイが気になりだしたら交換してください。(☞ 35 ページ)



■ノズルシャッター (品番：CWA-122)

汚れが気になるときに交換できます。ノズルまわりをいつも清潔に保てます。(☞ 32 ページ)



別売品の購入方法

● 直接、購入される場合

当社商品の販売店でお求めください。

● 宅配サービスをご利用される場合

宅配サービスでは送料が別途必要となります。

- ・ お電話にてご注文いただく場合

LIXIL パーツショップ水廻り部品販売窓口へご連絡ください。

[ご注文フリーダイヤル]

電話番号 ☎ 0120-126-015

受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日・夏期・年末年始の休みは除く）

- ・ インターネットにてご注文いただく場合

[ホームページアドレス]

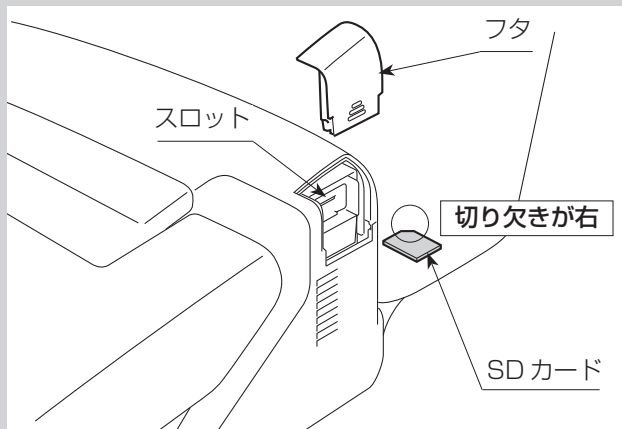
<http://inax.lixil.co.jp/aftersupport/sales/index.html>

（インターネットではお取り扱いしていない商品もございます。あらかじめご了承ください。）

■ SD カードの交換方法

※機種によっては、この機能がない場合があります。

1. 電源スイッチを押して「切」にし、電源ランプの消灯を確認します。
2. シャワートイレ本体側面のフタを開け、SD カードを一度、奥に押し込み、指を離します。
3. すこし飛び出た SD カードを引き出します。
4. 新しい SD カードをスロットに奥まで差し込み、フタを閉めます。
5. 電源スイッチを押して「入」にし、電源ランプの点灯を確認します。



※ SD カードは、スロットに正しい向きで確実に差し込んでください。
間違った向きで差し込んだり、差し込みが不十分ですと、SD カードが破損したり、データが変化・消失する原因になります。

⚠ 警告

SD カードを乳幼児の手の届く場所には置かないでください。

※ 誤って飲み込むと、窒息の恐れがあります。



禁止

※ SD カードに内蔵した音源は、本製品での使用以外の目的では使用できません。

お客さまが録音したものは、個人として楽しむ等のほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

※ お客さまがご自分で録音された音楽を再生する場合、保存形式・保存状態によっては音質の低下・音飛びまたは再生されないことがあります。

本製品で再生可能な音楽圧縮方式はMP 3（ビットレート：256kbps 以下、サンプリング周波数：44.1kHz）です。

温水洗浄便座は 電気製品です

～多くのお客さまが電気製品としての取り扱い、寿命を意識されていません～

故障したままのご使用や長年のご使用は、電気部品が劣化し発煙発火の恐れがあります

故障したままでは使わないで
ください。

火災や感電、室内浸水の原因
になります。

異常に気づいたら、すぐに電源
プラグを抜き、止水栓を閉めて
ご使用を中止し、販売店または
メーカーへご連絡ください。



定期的な点検をおすすめ
します。

安心してご使用いただくため、定期
的な点検をおすすめします。
また、長期間(10年以上)ご使用の
温水洗浄便座は買い替えをご検討
ください。使い勝手、機能性、省エネ
性能も向上しています。販売店また
はメーカーにご連絡ください。

安全にご使用いただくために

日ごろのご使用にあたり、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

便座や本体に小水や洗剤をかけ
ないでください。故障や火災の原
因になります。

酸性やアルカリ性の洗剤を使わ
ないでください。内部の電気部品
や金属を腐食させます。

電源プラグのほこりは取り除い
てください。トラッキング※現象
で火災の原因になります。

※トラッキングとは・・・電源プラグにたまったほこりと湿気により微小電流が流れ、火花が発生する。火花によりほこりが燃えて炭化するとトラック(電気の道)ができる。トラックのできた電源プラグを使用し続けると、やがて大量の電流が流れるようになりショートし、発火する。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックリスト

症状がひとつでも該当する場合は、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、
直ちにご連絡ください。

便座・便座コード

便座や本体、便座コードに異常がある状態で、使用
を続けると、火災や感電の原因となります。

- ☐ 本体や便座にひびや割れがありませんか？ ゴム足は外
れていませんか？
- ☐ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか？
- ☐ 便座の開閉はスムーズですか？ ガタツキはありますか？
- ☐ 便座コードが熱くなっていますか？ 傷んだり、挟みこん
だりしていませんか？ 焦げ臭いにおいがしませんか？

電源コード・電源プラグ

電源コードに異常がある状態で、使用を続けると、
火災や感電の原因となります。

- ☐ 電源コードが熱くなっていますか？ 傷んだり、挟みこん
だりしていませんか？
- ☐ 電源プラグの差込部が発熱・変色していませんか？

水漏れ

水漏れしている状態で、使用を続けると、
火災や感電、室内浸水の原因となります。

- ☐ 本体や止水栓まわりから水漏れはありますか？

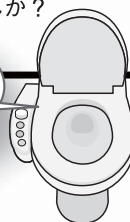
一般社団法人 温水洗浄便座工業会

〒461-0002 名古屋市東区代官町39-18

後援 経済産業省

<http://www.sanitary-net.com>

安心・安全
に使ってね！



商品のお問い合わせは
お客さま相談センターへ

TEL ☎ 0120-179-400
FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00～18:00
土・日・祝日 9:00～17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などでは
ご利用にならない場合がございます。
下記番号をご利用ください。

TEL :0562-40-4050
FAX:0562-40-4053

修理のご依頼は
LIXIL修理受付センターへ

TEL ☎ 0120-179-411
FAX ☎ 0120-179-456

受付時間 9:00～20:00 (365日受付)

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。
個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

年	月	日	損傷と処置	サービス担当者

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/>